○省令

陸軍省令第十一號

明治三十九年農商務省令第二號牝馬臨時貸下規程中左ノ通改正ス

明治四十三年十月十三日 陸軍大臣 子爵寺內正毅

第六條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ明治四十三年以後ハ連年蕃殖ノ成績不良ナルモノニ限リ地方長官ノ認可ヲ受ケ其ノ貸下料ヲ每年十月一頭拾六圓宛向四年間ニ納付スルコトヲ得

同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

地方長官第一項但書ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ都度陸軍大臣ニ報告スヘシ

第七條中「前條期間ヲ經過」ヲ「前條ノ貸下料ヲ完納」ニ改ム

第二號書式產駒ノ部「第六年(明治年)」ノ欄ノ下ニ「第七年(明治年)」「第八年(明治年)」ノ二欄ヲ加フ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年四月一頭拾六圓ノ貸下料ヲ納付シタルモノ第六條第一項但書ニ依リ延納ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ年十月分ノ貸下料ニ限リ之ヲ納付スルコトヲ要セス

○告示

鐵道院告示第九十三號

明治四十三年十月十三日ヨリ奧羽本線庭坂板谷間ニ赤岩(あかいわ)停車場ヲ設置シ旅客竝ニ手小荷物ノ取扱ヲ開始ス其哩程左ノ通

明治四十三年十月十三日 鐵道院總裁 男爵後藤新平

哩程

庭坂赤岩間 四哩八分

赤岩板谷間 四哩四分

鐵道院告示第九十四號

大阪荷扱所横堀、四ツ橋、安治川及相生橋ノ各支所ニ於テ來十月十六日ヨリ小荷物ノ受付ヲ爲ス

但取扱小荷物ノ種類、取扱時間ハ荷扱所及各支所內ニ掲示ス

明治四十三年十月十三日 鐵道院總裁 男爵後藤新平

農商務省告示第五百五十六號

森林法ニ依リ左記箇所ノ開墾ヲ禁止ス

明治四十三年十月十三日 農商務大臣 男爵大浦兼武

字	地番	面積
長野縣東筑摩郡中川手村		町段畝 歩
矢ノ塔	六、三八六	五六〇〇
同	六、三八七	九〇〇〇
同	六、三八八	三二〇〇
先途林	六、四二七	二、一五〇〇
宮大門	六、四三五	六二〇
中尾	六、五一九	五七一〇
同	六、五二〇	三三〇〇
同	六、五二四一	三三〇八
同	六、五二六イ	四三二〇
同	六、五二七	二〇
同	六、五三一	三、〇〇〇〇
あ沾原	六、五三二	九一二〇
小二郎澤	六、五三五ロ	六四一四
宮ノ上	同 ハ	二一二八
小次郎澤	六、五三八イ	二五〇〇
小治郎澤	六、五四一イ	三四二〇
小二郎澤	同 ロ	二〇三
矢ノ塔	六、五四五	三〇〇〇
同	六、五四六	五二六
堀平	六、五四七	一、〇一一〇
同	六、五五〇	四四〇〇
同	六、五五一	八〇〇〇
同	六、五五二	一、〇二〇〇
同	六、五六二イ	二、六六二〇
同	六、五八二イ一	八、〇三一八
同	同 イ二	一、八〇〇〇
北ノ澤	六、五八三	二一一一
同	六、五八四	二三一二
漆堂	六、五九〇	二七二六
同	六、五九九	二〇〇
笹原	六、六三一	一、四〇〇〇
上ノ山	六、六六一	五四一八
同	六、七一五イ一	五、九八一九
同	同 イ二	二八〇六
細久保	六、七一六	四七二五
上ノ山	六、七一八イ	一、一七一八
同	同 イ二	四〇〇〇
同	同 イ三	四〇〇〇
瀬ノ上	六、七九九	二〇〇〇
漆堂	六、八〇二一	一四、三〇〇〇
長峯山	六、八〇五	一四五、九〇二三
山神	六、八〇六	三四二〇
同錦部村大字殿野入		
小瀬畑	一六ロ	一五二三
宮ノ脇	一八ロ	一三一五
宮ノ入	四一ロ	一三二九
同	五一ロ	二三一五
原	三八四ロ	一〇〇〇
ジテイ	三八六	二二六
同	三八七	四一二
地テイ	三八九ロ	五一五
原	三九三	二〇六
大ノ田	六一三	二一〇一
入ケ澤	六三七	三三一〇
大ノ田	六七七	五二三
同	六七九	七〇四
同	六八一	四二五
同	六八二	四〇五
同	六八三	二一一
同	六八五	五〇〇
同	六八六	三一七
佛岩	七〇八	五一二
同	七〇九	一一八
同	七一一	七一五
同	七一二	一二五
同	七一三	二〇〇
同	七一四	一二〇
佛澤	七二三ロ	二二〇
佛岩	七二八ロ	一一〇
長畑	七四〇ロ	五二〇
同	七四一	一四一七
同	七四二	二〇二五
同	七四四	一三一五
志らロ	七八二イ	二、五〇〇〇
行入口	七八八ロ	五〇〇
中林	八六一イ	二六〇〇
同	八六二一	二八〇八
同	八六五ノ一	二二〇

第8195号 本文
本文

同	八六六	一三〇六
同	八六七	一一一二
かけ山	八六八	二八二四
地蔵	八七〇イ	一九〇〇
同	同 ロ	二二一八
同	八七一	三二一二
ゐゐ山	八七三ノ一	二一〇〇
馬脊原	八七四	二三〇〇
栗立	八七五	七一五
同	八七六	二〇二五
同	八七七	六二〇
向山	八七八イ	七〇〇〇
同	八七九	八〇〇
同	八八〇イ	二〇〇〇
天神	八八二イ	一六一五
天神入	八八三	二五一〇
天神	八八四	三〇〇〇
同	八八五	三〇〇〇
猿山屋	八八六	三、三三一〇
同	八八七	二、六六二〇
天神入	八八八	二四〇〇
日影山	八八九	二二一八
同	八九〇	九一〇
同	八九一ノ一	七一四
郷四窪	八九五	六六二〇
稗田澤	八九六	三、四六二〇
山ノ神	八九七	二八〇〇
とこなめ	八九八	二、五八〇四
むしゐ岩	八九九	三、三三一〇
同	九〇〇ノ一	一、三三一一
同	九〇一	一、四四二〇
同	九〇二	二、七〇〇〇
ムシナ岩	九〇三	一、一二〇〇
同	九〇四ノ一	一六〇〇
佐平治林	九〇五	一、六三一〇
佛澤	九〇六イ二	一、一三三七
峯林	九〇八	二〇〇〇
ゐきの澤	九〇九イ一	三、八二二一
前林	九一〇	三、七四〇〇
同	九一三	四〇〇〇
同	九一五	六〇〇〇
同	九一六	一、二六二〇
大洞	九一七	七一五
同	九一八	八〇〇〇
同	九二〇	五七〇〇

同	九二一	四八〇〇
同	九二二	四二〇〇
同	九二三	八〇〇〇
同	九二五	三三一〇
同	九二六	二七一八
八ケ平	九二七	三、三三一〇
不ふき澤	九二八イノ一	一、八四〇〇
同	九二九	二六二〇
同	九三〇	三三一〇
同	九三一	二〇〇〇
同	九三二	三二〇
同	九三三	一〇〇
同	九三四	二〇〇〇
入ケ澤	九三五ノ一	一、九七一三
同	九三六イ一	七、九八二九
同	九三八イ	一、三〇〇〇
同	同 ノロ	一〇〇〇
同	同 ロ	四三一〇
宮ノ入	九四〇イ	七六〇二
同	九四四	一、六八二〇
同	九四五イ	二〇〇〇
同	九四六ノ一	一〇〇〇
同	九四八イ	三、八五二五
同大字赤怒		
上平	一三〇ロ	六〇〇
淀ろ澤	一三九ロ	一八一〇
長畑	一四四ロ	九一七
原	一五二ロ二	一一五
クルミガヤ	一五四ロ	四一二
同	同 ハ	七一〇
同	一六〇ロ	九一四
同	一六三ロ	一八一九
淀ろ澤	一七〇ロ	九一〇
淀ヲ澤	一七五イ	一一八
同	一七六	六二〇
同	一七七	一〇二五
同	一七八	四一六
同	一七九	七一七
同	一八〇ロ	三一七
同	一八一ノ一	五一一
同	一八三イノ一	九一二
同	一八四	六一〇
同	一八五ノイ	五一七
同	同ノロ一	一二五
同	一八六	一〇〇九

同	一八七	二七一八
淀ろ澤	一九四ロ	四〇六
同	一九七ロ	五一二
同	一九八二	一二〇三
同	二二〇ロノ一	一三〇八
同	二二一ロノ一	一五〇九
同	二二二ロ	一六二九
山神原	三七二イ	一五〇六
同	三七三一	四四〇〇
同	同 二	一六二六
金山澤	九三九ロ	五〇六
山崎	一、〇五七イ	一六一四
尾張澤	一、〇五八一	一四
同	一、〇五九	九一五
同	一、〇六〇	一五〇〇
同	一、〇六一	二〇〇〇
同	一、〇六二	九六二〇
コヤノ平	一、〇六三	二四〇〇
尾張澤	一、〇六四	五〇〇
日向山	一、〇六五	一二一五
同	一、〇六六	一〇二〇
同	一、〇六七	二九〇五
同	一、〇六八	一〇〇〇
同	一、〇六九	三一〇
同	一、〇七〇	八
同	一、〇七一	六二〇
日向山岸	一、〇七二	一六二〇
日向山	一、〇七三	二〇八
同	一、〇七四	八〇〇
同	一、〇七五イ一	八七一八
同	一、〇七六イ	一、三二〇〇
スリウス	一、〇七七イ一	一六一二
平	同 ロ	一八一五
同	一、〇七八	一五〇五
同	一、〇七九	五〇〇
同	一、〇八〇	四
同	一、〇八二一	一一二〇
同	一、〇八三	一五一三
淀ヲ澤	一、〇八四ノ一	一〇〇
同	一、〇八五イ	二四〇〇
同	一、〇八六	三四一五
同	一、〇八七	三二一四
同	一、〇八八	三〇八
同	一、〇八九	一七一〇

同	一、〇九〇	一八一〇
同	一、〇九一	二五〇〇
同	一、〇九二ノ一	三八二〇
同	一、〇九三	二、〇〇〇〇
同	一、〇九四	七一五
同	一、〇九五イ一	一六二〇
同	一、〇九六イ一	七二三
同	同 ロ	七二〇
同	一、〇九七	一〇〇〇
同	一、〇九八	四二一五
同	一、〇九九	九二三
同	一、一〇〇ノ一	一四二〇
同	一、一〇一	七〇〇〇
同	一、一〇二	一二〇〇
同	一、一〇三	二四〇〇
淀ろ澤	一、一〇四イ	三〇〇九
同	一、一〇五	三八〇〇
同	一、一〇六二	二二二三
同	一、一〇七	一四一〇
同	一、一〇九	五〇五
小入	一、一一一	一二一四
同	一、一一三	二一〇〇
同	一、一一四	四一三
同	一、一一六	四二〇
同	一、一一七イ	一〇二八
同	一、一二〇ノ一	七二一四
同	一、一二二	二二一〇
ラントウ	一、一二三	四一二
場	一、一二四	七七一三
萱峯	一、一二五イ	四〇〇〇
同	一、一二六	四〇〇四
同	一、一二七	六九一三
同	一、一二八	二五〇〇
萱平	一、一二九	一六二〇
同	一、一三〇	二五〇〇
同	一、一三一	一二二〇
同	一、一三二	一五一八
萱峯	一、一三三	八八二七
丁子	一、一三四	七六〇〇
同	一、一三五	二四二〇
同	一、一三六	四三〇五

同	一、一三七	二九一八
同	一、一三八	三九二七
同	一、一三九	七六〇五
同	一、一四〇	一、七二〇二
同	一、一四一ノ一	六、三〇〇〇
赤怒田入	一、一四二	一六一五
とろの木	一、一四三	五〇八
山ノ神	一、一四四	四〇〇
同	一、一四七	二一二
同	一、一四八	一一四
同	一、一四九	五一〇
同	一、一五〇	二二〇
がき山	一、一五一	八一〇
同	一、一五二	四〇五
同	一、一五三	四〇五
同	一、一五四	一一〇八
あき山	一、一五五	六二三
中林	一、一五六	一六二〇
同	一、一五八	四一二
同	一、一五九	四一五
同	一、一六一	七一二
同	一、一六二	三二〇二
日向山	一、一六四ノ一	四九〇〇
同	一、一六五	五六〇〇
同	一、一六六	三三一〇
同	一、一六七	一〇〇〇
同	一、一六八	三一〇
同	一、一六九	六二〇
同	一、一七一	二〇八
同	一、一七三	八七一八
同	一、一七五イ一	一、三二〇〇
同	一、一七六イ	四〇〇
金山澤	一、一七七	一五〇五
同	一、一七八	二九〇五
同	一、一八〇	一一二〇
同	一、一八二一	一五一三
同	一、一八三	
バラントウ	一、一八五	二四
同	一、一八六	一〇六
同	一、一八七	一〇四
ツカ林	一、一八九	一五

同	一、一九〇	三〇〇〇
金山澤	一、一九三	一五〇〇
孫八入	一、一九四イ	八〇〇
同	一、一九六	四五二五
同	一、一九七	一〇〇〇
同	一、一九八	一二〇〇
同	一、二〇〇	二八〇〇
同	一、二〇一	五一八
同	一、二〇四	三一〇八
同	一、二〇五	一二六
同	一、二〇六ロ	一二六
同	一、二〇七	一〇六
同	一、二〇九イ	三〇〇
ウドノ澤	一、二一〇	七二五
同	一、二一四イ	一〇〇
同	同 ロ一	一三二〇
同	一、二一四ロ二	四〇〇〇
同	同 ロ三	一三〇〇
岩原	一、二一五一	二二二
同	一、二一六	五一三
同	一、二一七	七〇三
同	一、二一八	二二七
富士塚	一、二二〇イ	一、二九〇〇
同	同 ロ	三四二八
八蔵澤	一、二二一	六二〇
同	一、二二二	一八〇〇
同	一、二二三	二一〇
同	一、二二四	四二〇
袖原	一、二二五	二一〇
同	一、二二六	一〇〇〇
同	一、二二七	七七一五
同	一、二二八	八〇八
同	一、二二九	五一五
岩原道下	一、二三〇	八一〇
同	一、二三一	一三一八
岩原	一、二三二	四〇〇
同	一、二三三	三三三
同	一、二三四	七一八
同	一、二三五	一、三〇六〇
同錦部村大字金山町		
ジテイ	一	七一五
同	二	四一〇

農商務省告示第五百五十七號

明治四十三年十月七日左記事項ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

明治四十三年十月十三日　農商務大臣　男爵大浦兼武

専用漁業權	讓渡年月日	讓渡人	讓受人	條件又ハ制限
明治四十年五月十六日付免許番號第三五三號	明治四十三年二月十二日	山口縣豊浦郡彦島村大字六連島、六連島漁業組合	山口縣豊浦郡彦島村大字彦島、彦島漁業組合	本權漁業ヲ爲シ得ルモノハ組合員中大字六連島ニ住所ヲ有スルモノニ限ル

遞信省告示第千六十八號

明治四十二年七月遞信省告示第六百三十號外國小包郵便料金表（第一郵便料金ノ部）中在清露國郵便局所在地、張家口ノ項ヲ左ノ通改正ス

明治四十三年十月十三日　遞信大臣　男爵後藤新平

名宛國	遞送線路	差立郵船	郵便料 聯合條約ニ依ルモノ 二百六十六匁（一「キログラム」）迄	一貫三百三十三匁（五「キログラム」）迄	特別條約ニ依ルモノ 三百六十匁（三封度）迄	八百四十匁（七封度）迄	一貫三百二十匁（十一封度）迄	價格表記 金額制限	手數料（二百法又ハ其端數ノ毎ニ）	代金引換金額制限	小包各箇ニ要スル税關告知書ノ枚數（同一差出人ヨリ同一受取人ニ宛テタル二箇又ハ三箇ノ小包ニハ一通ノ税關告知書ヲ使用スルコト）	到達證	別配達	附註
張家口（Kalgan）	直接交換	日船	圓、錢 .七〇	圓、錢 .七〇	圓、錢	圓、錢	圓、錢	三、〇〇〇法	圓、錢 .一〇		四枚	許	—	北京經由

遞信省告示第千六十九號

本月十五日限リ左記郵便局本年ノ事務ヲ閉鎖シ下記郵便局其事務ヲ承繼ス

明治四十三年十月十三日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置	承繼局名
六甲山郵便局	兵庫縣武庫郡六甲村	神戸郵便局

遞信省告示第千七十號

本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス但シ電話呼出規程第四條ノ取扱ヲ爲サス

明治四十三年十月十三日　遞信大臣　男爵後藤新平

名稱	位置
長窪古町郵便局	長野縣小縣郡長窪古町

遞信省告示第千七十一號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月十六日ヨリ施行ス

明治四十三年十月十三日　遞信大臣　男爵後藤新平

加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料	加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料	加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
長窪古町上田間	金十五錢	長窪古町大屋間	金十錢	長窪古町保野間	金十錢
長窪古町小諸間	金十五錢	長窪古町川邊間	金十五錢	長窪古町田中間	金十錢
長窪古町丸子間	金五錢	長窪古町上鹽尻間	金十五錢	長窪古町本海野間	金十錢
長窪古町別所間	金十錢	長窪古町浦里間	金十五錢		
長窪古町青木間	金十五錢	長窪古町東鹽田間	金十錢		

遞信省告示第千七十二號

明治四十三年勅令第三百四十號ニ依リ入札又ハ契約ノ保證金トシテ提供セシムヘキ有價證券ノ種類ハ國債證券、地方債證券、勸業債券、興業債券、貯蓄債券トス

明治四十三年十月十三日　遞信大臣　男爵後藤新平

正誤

昨四十二年四月十日農商務省告示第百四十四號中見込三、四二八、二八〇〇ハ見込三、四一五、二〇〇〇本年三月十六日同第百三十九號中二段十行ヌクエハ暖重九四二四八九七二四去月十六日同第四百七十號中二九一頁三段十四（十五）行小田原ハ小原田、四段十二行早八坂ハ四十八坂、五段七行西片屋ハ西荒屋、同二十四（二十五）行松振ハ松根同二十九日同第五百八號中四段五行東カナタニハ東ナカタニ同五百九號中二段八行元陣屋敷ノ下二七〇ノ四ハ二七一ノ二ノ誤本月三日同第五百二十一號中四二頁一段四行ノ次ニ同大字山上ノ一行ヲ脱ス同二十七行長屋俊憲ハ長尾俊憲ノ誤去月十六日同第四百七十號中二九一頁五段四十一（四十二）行湯ノ澤ハ湯ノ濱ノ誤植

農商務書記官

○敍任及辭令

○明治四十三年十月十二日

敍從五位　正六位勳五等　中山正翰

任關東都督府祕書官　敍高等官六等　第五高等學校教授正七位　乘杉嘉壽

任徳島縣技師　敍高等官八等　徳島縣技手　川人兵次郎

任鹿兒島縣技師　敍高等官七等　鹿兒島縣技手陸軍二等主計從七位勳六等功五級　齋藤眞秀

御用有之清國ヘ被差遣　外務書記官　菊地駒次

免本官（以上十月十二日內閣）　關東都督府祕書官　高橋本吉

農商務大臣正三位勳一等男爵　大浦兼武

伊太利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「サン、モーリス、エ、ラザル」第一等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

農商務大臣正三位勳一等男爵　大浦兼武

露西亞國皇帝陛下ヨリ贈與シタル白鷲勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

特命全權公使正五位勳三等　日置益

普魯西國皇帝陛下ヨリ贈與シタル赤鷲第二等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍歩兵少佐從六位勳四等功四級　引田乾作

巴威里國皇帝陛下ヨリ贈與シタル武功第三等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

第8195号 本文

陸軍歩兵少佐從六位勳五等功四級　吉岡　顯作

墺地利洪牙利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「コンマンドール、ド、ロルドル、ド、フランツア、ジョゼフ」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍歩兵少佐從六位勳五等功四級　吉岡　顯作

土耳其國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「メヂジエ」第三等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍歩兵少佐從六位勳五等功四級　吉岡　顯作

羅馬尼國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「コンマンドール、ド、ロルドル、ド、ラ、クーロンヌ、ド、ルマニー」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍歩兵少佐從六位勳五等功四級　吉岡　顯作

塞耳維國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「サン、サヴァー」第三等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍歩兵少佐從六位勳五等功四級　吉岡　顯作

布爾牙利國皇帝陛下ヨリ贈與シタル武功第三等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍歩兵中尉從七位勳六等功四級　早川　止

清國皇帝陛下ヨリ贈與シタル三等第二雙龍寶星ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍歩兵少佐從六位勳五等功四級　吉岡　顯作

墺地利洪牙利國皇帝陛下即位六十年祝典紀念章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

山内惣太郎

露西亞國皇帝陛下ヨリ贈與シタル神聖「スタニスラス」綬附銀製記章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル（以上十月八日賞勳局）

判事正六位勳五等　中山　正嶮

特旨ヲ以テ位一級被進（十月十二日宮內省）

東京府事務官　昌谷　彰

府縣制第六十五條第三項ニ依リ東京府參事會員ヲ命ス

京都府事務官　横山　三郎

府縣制第六十五條第三項ニ依リ京都府參事會員ヲ命ス

青森縣事務官　萩　亮

府縣制第六十五條第三項ニ依リ青森縣參事會員ヲ命ス

東京府事務官　昌谷　彰

土地收用法第三十八條第二項ニ依リ東京府收用審查會委員ヲ命ス

京都府事務官　横山　三郎

土地收用法第三十八條第二項ニ依リ京都府收用審查會委員ヲ命ス

青森縣事務官　萩　亮

土地收用法第三十八條第二項ニ依リ青森縣收用審查會委員ヲ命ス

東京府事務官　昌谷　彰

京都府收用審查會委員ヲ免ス

京都府事務官　横山　三郎

青森縣收用審查會委員ヲ免ス（以上十月十一日內務省）

鹿兒島縣技師　齋藤　良秀
德島縣技師　川人兵次郎

（各通）

年俸參拾圓下賜（十月十二日同）

大藏省臨時建築部技師　早田鍬之助

大藏省臨時建築部神戶支部在勤ヲ命ス（十月十二日大藏省）

海軍大佐　小栗孝三郎

補海軍省出仕

海軍省出仕海軍中佐　飯田　久恆

免本職補筑波副長

筑波副長海軍中佐　笠島新太郎

免本職

海軍中佐　笠島新太郎

待命被仰付　但横須賀ニ滯在スヘシ

夕立驅逐艦長兼夕暮驅逐艦長海軍大尉　大金　實

免兼職

佐世保海兵團分隊長海軍大尉　吉田　幸雄

免本職補佐世保水雷團副官

綾波驅逐艦長兼浦波驅逐艦長海軍大尉　大谷　喜雄

免兼職

出雲分隊長海軍大尉　小副川敬治

免本職補浦波驅逐艦長

海軍大尉　辛島　昌雄

補佐世保海兵團分隊長

吳水雷團副官海軍大尉　小澤　八郎

免本職補夕暮驅逐艦長

佐世保敷設隊分隊長兼佐世保水雷團副官海軍大尉　白山集次郎

免兼職

海軍大尉　渡部　忍

補吳水雷團副官

海軍中軍醫　小野　醇吉

免比叡乘組補舞鶴海兵團附

舞鶴海兵團附海軍少軍醫　玉川　友德

免本職補舞鶴水雷團附

水路部會計課長兼海軍經理學校教官監事海軍主計少監　三段崎景之

免兼海軍經理學校監事

吳海軍經理部課員海軍大主計　細井　正治

免本職補海軍經理學校監事兼敎官

最上主計長兼秋津洲主計長海軍大主計　清澤吉之助

免兼職

佐世保海軍工廠會計部附海軍大主計　野々山榮吉

免本職補秋津洲主計長

舞鶴水雷團附海軍中主計　喜田　忠

免本職補佐世保海軍工廠會計部附

海軍中主計　原田　芳助

免比叡乘組補舞鶴水雷團附（以上十月十二日海軍省）

司法官試補（東京地方）　紅村　重哉

名古屋地方裁判所及同檢事局竝名古屋區裁判所及同檢事局ニ於テ事務修習スヘシ（十月十一日司法省）

一宮區裁判所判事判事　中山　正嶮

六級俸下賜（十月十二日同）

林務官　山内　顯

山林局勤務ヲ命ス（十月十一日農商務省）

特許局技師兼特許局審查官　平山　英三

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス（十月十二日同）

遞信技師　澁澤　元治

福島縣下ヘ出張ヲ命ス（十月八日遞信省）

東牟婁郡新宮町立高等女學校敎諭　杉本美之助

十級俸　當分年俸七百貳拾圓　下賜（十月七日和歌山縣）

正誤

昨十二日本欄三三七頁上段堀田貢及長谷川久一ノ辭令文中兼務ハ兼勤ノ孰モ報告誤　內務書記官

本月十日同二五四頁下段中村賢吾ハ中林賢吾ノ誤植

○宮廷錄事

○神宮神嘗祭御遙拜竝賢所御親祭次第　本月十七日　神宮神嘗祭御遙拜竝ニ賢所御親祭次第左ノ如シ

神宮神嘗祭御遙拜次第

午前九時御殿ヲ裝飾ス

其儀神嘉殿ノ南庇ニ御屏風二雙ヲ立廻シ其內ニ寶薦ヲ敷キ上ニ御座ヲ設ク

同十時　天皇出御

次御遙拜訖テ入御

皇后便殿ニ於テ御遙拜

皇太子便殿ニ於テ遙拜

皇太子妃同上

神嘗祭賢所御親祭次第

午前九時御殿ヲ裝飾ス

次式部職官員著床

次親王王大勳位親任官同待遇貴族院議長衆議院議長公爵從一位勳一等一等官貴族院副議長衆議院副議長侯爵正二位二等官麝香間祗候錦鷄間祗候勅任待遇著床

次開扉

此間奏樂

次神饌ヲ供ス

此間奏樂

同十時　天皇出御

次御玉串ヲ奉リ御拜禮御告文ヲ奏セラル

御鈴內掌典奉仕　訖テ入御

此間著床ノ諸員起ツ

次　皇后出御

次御玉串ヲ奉リ御拜禮訖テ入御

此間著床ノ諸員起ツ

次　皇太子參進

次玉串ヲ奉リ拜禮訖テ退下

此間著床ノ諸員起ツ

次　皇太子妃參進

次玉串ヲ奉リ拜禮訖テ退下

此間著床ノ諸員起ツ

次親王王以下著床諸員拜禮

次宮內省奏任官奏任待遇拜禮

次掛判任官拜禮

次神饌ヲ撤ス

此間奏樂

次閉扉

此間奏樂

次各退下

正午十二時式部職官員著床

次開扉

同時ヨリ午後一時迄伯子男爵從二位以下及勳二等以下神佛各宗派管長奏任官奏任待遇門跡寺院住職參拜

午後一時ヨリ同二時迄判任官判任待遇參拜

次閉扉

次各退下

○東宮還御　皇太子殿下ハ御豫定ノ如ク一昨十一日午前八時五十分馬場停車場御發車午後四時十分靜岡停車場御著車同四時十七分靜岡御用邸ニ御安著アラセラレ昨十二日午前七時靜岡停車場御發車同十一時五十五分新橋停車場御著車午後零時二十分還御アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○正倉院御物本年曝涼期間及拜觀者心得　正倉院御物本年ノ曝涼期間及拜觀者心得事項左ノ如シ

一正倉院御物曝涼期間ハ十月二十日ヨリ十一月十日マテトス
一正倉院御物曝涼期間中毎日午前十時ヨリ午後三時マテ拜觀ヲ許ス但天氣不良ノ時ハ之ヲ停止ス
一拜觀者ハ一日五十人以內トス
一拜觀者ハ拜觀許可證ヲ携帶スヘシ
一拜觀者ハ掛員ノ指示ニ從フヘシ
一御物ハ摸造又ハ摸寫スルコトヲ許サス

○伯國臨時代理公使歸國　本邦駐箚伯剌西爾國特命全權公使ゴンサルヴェス、ペレイラ本月二十七日著京スヘキニ付キ右ト同時ニ同國臨時代理公使ルイス、ギマラエス歸國スヘキ旨同臨時代理公使ヨリ同十日附ヲ以テ通知アリ

○官吏發著　神宮神嘗祭勅使トシテ參向ノ掌典園池實康ハ昨十二日出發セリ

曩ニ水戶專賣支局管內ヘ出張ヲ命セラレタル奥專賣局技師ハ昨十二日出發セリ

曩ニ滋賀縣大津ヘ出張ノ石田歩兵第十八旅團長ハ本月六日、兵庫縣姬路ヘ出張ノ平井歩兵第二十旅團長ハ同七日、岐阜縣可兒、加茂、惠那郡地方ヘ出張ノ黑澤歩兵第五旅團長及福知山地方ヘ出張ノ永田舞鶴要塞司令官ハ同八日、滋賀縣饗庭野竝ニ京都、大阪地方ヘ出張ノ楠瀨由良要塞司令官ハ同九日孰モ歸著●渡邊歩兵第三十四旅團長ハ團隊長會議ニ參列ノタメ岡山ニ向ヒ同七日、長谷川第五師團軍醫部長ハ第五師管陸軍軍醫分團第一回現地講話視察ノタメ山口縣下ニ向ヒ　第十師團參謀長金久保万吉ハ地理實査ノタメ篠山、福知山、舞鶴地方ニ向ヒ同八日、石橋歩兵第七旅團長ハ　歩兵第七十聯隊檢閱射擊臨檢ノタメ京都府天田郡長田野ニ向ヒ森川歩兵第二十六旅團長ハ　歩兵第五十八聯隊第四期檢閱實視ノタメ關山ニ向ヒ同十日、南部陸軍士官學校長ハ　同校生徒測圖演習巡視ノタメ千葉地方ニ向ヒ一昨十一日孰モ出發●曩ニ神奈川縣高座郡地方ヘ出張ノ依田歩兵第一旅團長ハ本月八日、千葉縣習志野原ヘ出張ノ陸軍戶山學校長大庭二郎ハ同十日孰モ歸京セリ

京都市ヘ出張ヲ命セラレタル山下司法技師、豐野監獄事務官、名古屋控訴院管內ヘ出張ヲ命セラレタル松室檢事ハ一昨十一日孰モ出發セリ

中村福井縣知事ハ本月十日、熊谷山梨縣知事ハ一昨十一日孰モ上京●曩ニ上京ノ島根縣事務官和田潤、大分縣事務官黑崎眞也ハ同日、武田青森縣知事、石川縣事務官山縣治郎ハ昨十二日孰モ出發歸任セリ

○官吏卒去　巖手縣事務官從五位勳六等田中正太郎ハ本月五日卒去セリ

判決

○特許局審決　恆川常吉ヨリ鈴木富太郎ニ對スル第六九二八號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付キ去月二十三日特許局ニ於テ左ノ如ク審決セリ

審判番號第一六六九號

審決書

東京市日本橋區本石町四丁目八番地
請求人　恆川　常吉
同市神田區裏神保町四番地
右代理人　特許辨理士　齋藤　孝治
同所
同　特許辨理士　宇田　正穗
東京市麻布區富士見町九番地
被請求人　鈴木　富太郎
同市小石川區新諏訪町十六番地
右代理人　特許辨理士　添田　增男

右當事者間ノ第六九二八號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文

登錄實用新案第六九二八號引戶用金具ノ登錄ハ之ヲ無效トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領

請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有スル登錄實用新案第六九二八號ノ登錄ハ之ヲ無效トシ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件登錄實用新案引戶用金具ト全ク同一ナル物品ハ被請求人ノ登錄出願以前ヨリ我帝國ニ於テ公ニ用ヒラレ居リタルモノナルカ故ニ本件實用新案登錄ハ

第8195号　本文

○叙勲

○叙位

○辞令

○官吏進退

○官吏死亡

○官吏病気

○官吏休職

○官吏復職

○官吏転免

○官吏転官

○官吏転任

○官吏転補

○官吏転属

○官吏転勤

○官吏転籍

○官吏転地

○官吏転宅

○官吏転住

○官吏転居

○官吏転学

○官吏転校

○官吏転科

○官吏転業

○官吏転職

○官吏転役

○官吏転隊

○官吏転艦

○官吏転船

○官吏転航

○官吏転港

○官吏転泊

○官吏転錨

○官吏転舵

○官吏転帆

○官吏転檣

○官吏転索

○官吏転網

○官吏転釣

○官吏転漁

○官吏転猟

○官吏転獲

○官吏転捕

○官吏転殺

○官吏転生

○官吏転死

○官吏転葬

○官吏転祭

○官吏転祀

○官吏転拝

○官吏転礼

○官吏転謝

○官吏転賀

○官吏転弔

○官吏転慰

○官吏転励

○官吏転勉

○官吏転学

○官吏転習

○官吏転修

○官吏転研

○官吏転究

○官吏転調

○官吏転査

○官吏転検

○官吏転閲

○官吏転覧

○官吏転読

○官吏転写

○官吏転記

○官吏転録

○官吏転誌

○官吏転著

○官吏転述

○官吏転作

○官吏転編

○官吏転纂

○官吏転訳

○官吏転校

○官吏転刊

○官吏転印

○官吏転版

○官吏転製

○官吏転造

○官吏転成

○官吏転就

○官吏転任

○官吏転職

○官吏転官

○官吏転位

○官吏転階

○官吏転等

○官吏転級

○官吏転号

○官吏転俸

○官吏転給

○官吏転賞

○官吏転罰

○官吏転刑

○官吏転獄

○官吏転囚

○官吏転捕

○官吏転縛

○官吏転拘

○官吏転留

○官吏転置

○官吏転放

○官吏転免

○官吏転黜

○官吏転退

○官吏転職

○官吏転任

○官吏転補

○官吏転充

○官吏転当

○官吏転兼

○官吏転摂

○官吏転代

○官吏転理

○官吏転務

○官吏転事

○官吏転業

○官吏転職

○官吏転役

○官吏転隊

○官吏転艦

○官吏転船

○官吏転航

○官吏転港

○官吏転泊

○官吏転錨

○官吏転舵

○官吏転帆

○官吏転檣

○官吏転索

○官吏転網

○官吏転釣

○官吏転漁

○官吏転猟

○官吏転獲

○官吏転捕

○官吏転殺

○官吏転生

○官吏転死

○官吏転葬

○官吏転祭

○官吏転祀

○官吏転拝

○官吏転礼

○官吏転謝

○官吏転賀

○官吏転弔

○官吏転慰

○官吏転励

○官吏転勉

○官吏転学

○官吏転習

○官吏転修

○官吏転研

○官吏転究

○官吏転調

○官吏転査

○官吏転検

○官吏転閲

○官吏転覧

○官吏転読

○官吏転写

○官吏転記

○官吏転録

○官吏転誌

○官吏転著

○官吏転述

○官吏転作

○官吏転編

○官吏転纂

○官吏転訳

○官吏転校

○官吏転刊

○官吏転印

○官吏転版

○官吏転製

○官吏転造

○官吏転成

○官吏転就

官報　第八一九五號　明治四十三年十月十三日（第三種郵便物認可）　三五四

第 8195 号　本文

本文　第8195号

第8195号 本文

同大字出り	小泉　藤吉	一〇、四、二六
同大河內村大字笹川	增井　銀藏	三、八、二
同大河內村大字笹川一二一	小阪音右衛門	二〇、七、一八
同朝見村大字佐久米	金見　定吉	四、八、二〇
多氣郡齋宮村大字平尾一八	奥井　齊吉	三、一二、一三
度會郡神原村大字山原	市川　和一郎	三、五、二九
阿山郡上野町大字萬町	服部　龜藏	三、九、二六
同大字農人町四九九地	中野　周次郎	三、一二、二
同玉瀧村大字槇山	藤原　音吉	一七、六、一六
同山田村大字眞泥一八二九地	上田　覺三郎	一八、三、五
同柘田村大字下友田六八ノ一	奥瀬　源之助	一三、一二、四
同三田村大字三田五五七地	奥出　寅藏	三、一、二五
名賀郡瀧川村大字丈六	堀井　豐太郎	五、一二、一四
同箕曲村大字青蓮寺	田側　菊松	三、一〇、七
同比奈知村大字下比奈知	吉住　光之助	四、五、一六
同大字瀧ノ原一四一	堀限　長藏	一五、八、二一
志摩郡和具村	出口　音松	一四、一、一五
同濱島村大字濱島	山崎　要助	二、六、二
北牟婁郡三野瀬村大字海野浦一一二五地	大西　市太郎	三、八、九
南牟婁郡市木村大字上市木一五一	門　磯平	二〇、四、二六
同神志山村大字神木一六	中納　由太郎	三、一、二一
同六一	門藤　治郎	二、八、八
同阿田和村大字阿田和二二三四地	濱口　富太郎	一九、三、一三
津市大字津北町	奥山　重兵衛	三、四、一五
同大字岩田出口	玉置　榮吉	三、八、一七
同大字津塔世西裏	川村　德次郎	三、九、四
同大字津八幡町	中村　清治郎	四、二、一八
同大字津乙部	阿部　清七	九、二、一六
四日市市大字袋町	服部　直三郎	三、七、一六
同大字中町	平井　豐太郎	六、二、二五

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
武藏	一〇、一二		大湊	
八雲、沖島、見島、淀	同		吳	安下庄
曙、雷	一〇、一二		厚岸	根室
薄雲、東雲、漣、霞	同		馬山	竹敷

○學事

○學位授與（昨十二日ノ續）

學位記

山口縣平民
吉村　喜作

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學醫科大學教授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ醫學博士ノ學位ヲ授ク

論文審査ノ要旨

肺ノ心臟冷却作用ニ就テ（獨文）

著者ハ心臟カ終生間斷ナク働作スル一ツノ筋肉トシテ大部分ノ熱ヲ發生スルカ故ニ若シ之レニ對スル一定ノ冷却裝置ナキ時ハ病的狀態ニ於テハ勿論生理的關係ニ於テモ少クトモ或ル條件ノ下ニハ心臟カ過熱ノ危險ニ遭遇スヘキハ最モ見易キ理ニシテ自然ハ果シテ斯カル危險ヨリ救フヘク何等ノ防禦裝置ヲ備ヘサリシカトノ疑問ニ對シ心臟ニ鄰接セル肺臟コソ之レカ任ニ當ル者ナラントノ想像ヲ起セリ著者カ此點ニ著目セルハ心臟カ肺ニ觸接セス且ツ比較的多量ノ胸筋ヲ以テ蔽ハレ爲メニ肺ト直接ニ交通セル數多ノ氣囊ヲ以テ包圍セラル、彼ノ鳥類ニ於テ氣胞カ心臟ニ對スル冷却裝置ナラント想像セル彼ノエックスネル氏ノ說ニ基因セリ著者ハ此疑問ヲ解決セントシ肺、心筋及血液等ニ於ケル溫度ノ比較測定ヲナセリ而シテ其目的ニ向ッテ著者ハ最新ノ最モ精細ナル溫度測定法卽溫電測定法ノ原理ニ基キ溫電針ヲ著者ノ考案ニ成レル一種ノ方法ニヨリテ連結シ諸器官ノ比較溫ト同時ニ絕對溫度ヲモ測定シ得タリ

著者ハ大略左ノ如キ順序ニ於テ其實驗ヲ遂行セリ

第一　肺溫ト心溫トノ比較測定

著者ハ實驗動物ヲ犬及猫ニ取リ切開セル胸腔及切開セサル胸腔トノ二樣ニナシテ實驗ヲ試ミタリ溫針ハ一方ハ心臟ニ鄰接セル肺氣胞ヲ刺シ一方ハ左心室壁ヲ刺セリ數多ノ實驗成績ニ由ルニ何レノ場合ニ於テモ左心室壁カ肺ヨリモ常ニ高溫ニシテ其溫差平均約攝氏〇、五度ナルコトヲ見タリ

第二　左心室壁ト心室內血液トノ溫度ノ比較測定

著者ハ溫針ノ一方ヲ左心室壁一方ヲ大動脈鞘內ニ入レテ測定セリ多數ノ實驗成績ニ徵スルニ心壁ハ常ニ心室內血液ヨリモ高溫ニシテ其溫差ハ平均攝氏二、九七乃至二、五〇度ナルコトヲ見タリ但シ此溫差ハ切開セル胸腔竝ニ人工呼吸ノ下ニ行ハレタル實驗ノ示セル成績ナルカ故ニ直チニ以テ普通ノ狀態ニ應用スルコトヲ得サレトモアル程度迄ハ心室壁ト心室內血液トノ溫度ノ關係ヲ推斷スルニ足ルヘク一方ニ於テハ血液カ肺ヲ循環スルニ當リ如何ニ甚シク冷却サル、モノナルカヲ知リ一方ニハ心壁カ其働作ニヨリ斷エス熱源トナリ心臟ハ冷血ノ其內ニ流シ冷氣ノ其外ヲ包圍スルニ係ラス常ニ高溫ヲ保持スルモノナルコトヲ知リ得ヘシ

第三　綿ヲ以テ心臟ヲ被包セル實驗

著者ハ心臟ニ對スル冷却裝置トシテノ肺ノ作用ヲ去リ其影響如何ヲ知ランカ爲メ心臟ヲ被包スルニ乾燥セル綿ヲ以テセリ其實驗成績ニヨルニ心臟ハ斯クシテ綿ニヨリ其表面ヨリスル熱ノ消失カ妨ケラル、時ハ其溫度カ數分間ヲ出テスシテ昇騰シ心搏頻數不整乃至停止ヲ見ル此際綿ヲ去リ再ヒ肺ヲ以テ心臟ト肺トノ間ニ於ケル熱ノ傳導ヲ測定シタリ心臟比熱ノ測定ニハ著者ハ自家ノ考案ニヨリ動物ノ心臟ヲトリ一定溫トナシ之ヲ一定ノ溫度ヲ有スル水中ニ入レ兩者ノ間ニ於ケル熱ノ交換ニヨリ互ニ等溫トナルヲ待ッテ其溫度ヲ知リ水及心臟ノ容積ヲ基礎トナシ一定ノ方程式ニヨリ比熱ヲ測定シタルニ一六、三瓦ノ重サヲ有スル猫ノ心臟ニツキ平均一、五四ナル數ヲ得タリ熱ノ傳導ノ測定ニハ人工的ニ肺ト心臟トヲ觸接セシメ一定溫ノ心臟カ一定溫ノ肺ニ對シ一定時ニ幾何ノ熱ヲ與フルカニ由リテ知ルヲ得タリ其成績ハ肺ト心臟トノ溫差ヲ一度トスレハ心臟ノ冷却ハ毎分〇、〇四トナル今假リニ一六瓦ノ重量一、四八ノ比熱ヲ有スル猫ノ心臟ニ於テ二十四時間內ニ於ケル熱ノ消失量ヲ算スル時ハ〇、六八ニ大かろりートナリ心臟ノ比熱ヲ一ト假定スレハ〇、四六一小かろりートナル此關係ヲ人類ニ推シ心臟ヲ平均三〇〇、〇瓦ナリトセハ

$$0.04\times0.5\times1.48\times300\times6.0\times24=12.79$$

卽一二、七九大かろりートナリ心臟ノ比熱ヲ一トスレハ八、六四大かろりートナル此故ニ今假リニ心臟ノ一日ニ於ケル働作ニヨリ百四十大かろりーノ遊離熱ヲ發生スルモノトセハ其ノ總熱量ノ十分ノ一乃至十五分ノ一ハ直接ニ肺ヨリ奪ヒ去ラル、モノナリ

第六　熱ノ直接作用ニ對スル心臟ノ感度

著者ハ心臟カ肺ニヨル冷却ヲ必要トスルモノトセハ反對ニ心臟カ直接ニ熱ニ遭遇スル時ハ如何ナル影響ヲ及ホスヘキカヲ知ラントシ動物ニ於テ心囊內ニ種々ノ溫度ヲ有スルリンゲル氏液ヲ注入シ心臟ノ働作ニ及ホス影響如何ヲ見タルニ心臟ハ熱ニ對シ甚タ鋭敏ニシテ心囊內ノ液ノ溫度ノ上昇スルニ從ヒ著シク心搏ヲ增加スルコトヲ見タリ著者ハ以上ノ諸實驗ニヨリ心臟ノ過熱カ心臟ニ對シテ危險ニシテ之レニ對スル自然ノ妙用タル防禦裝置ハ肺ノ官能ニ歸スルモノナルヤ疑ヲ容サル事實ナリト結論シ更ニ此關係ヲ病理學上ノ經驗ニ論及シ彼ノ心臟內血液カ適カニ心壁ヨリ冷溫ナルハ發熱時ニ於ケル心臟ニ對スル自然ノ防禦裝置ナリトシ又心臟ノ冷却機關タル肺臟ノ疾患カ心臟ニ及ホス影響心臟自個モ亦タ疾患ニヨリ犯サレタル場合等ニ於ケル諸種ノ關係ヲ詳論シ治療上心臟ノ過熱ニ對スル危險ニ注意スヘキコトヲ特筆セリ

鳥類ニ於ケル下橄欖體ニ就テノ實驗的及比較解剖學的研究（獨文）

著者ハ哺乳動物ニ於テ下橄欖體カ一ツノ獨立セル特有ナル成形體トシテ存在スルニ反シ鳥類ニ於テハ斯クノ如キ顯著ナル成形體ヲ缺キ其果シテ橄欖體ナルヤ否ヤ確實ニ證明セラレタルモノナキヲ以テ此目的ニ向ッテ實驗的竝ニ比較解剖學的研究ニ從事セリ

著者ハ鳥類ノ延髓ニ於テ舌下神經ノ領域ニ一致スル部位卽チ舌下神經ノ領域ニ於テ延髓ノ腹側緣ニ近ク縫際（「ラッフェー」）ノ兩側ニ於テ一定ノ細胞群アリテ其カ果シテ下橄欖體ナルヤ否ヤヲ證明セシカタメ鳩ニ於テ小腦及脊髓ニ一定ノ損傷ヲ加ヘ以テ既述ノ細胞群ニ對スル直接及間接ノ關係ヲ追究セリ蓋シ小腦ト下橄欖體トノ間ニ一定ノ聯絡アルハ既ニ知ラレタル所ニシテ小腦ノ損傷ニヨリ小腦橄欖體纖維及橄欖體自己ノ細胞ニ於ケル續發變性ノ有無ヲ知ランカタメニッスル氏染色ニヨルグッデン氏ノ萎縮法及マルキー氏染色ノ結合法ヲ用ヒタリ脊髓ニ於テハ半側切截ヲ施シ次テ既述ノ細胞群ニ對スル影響如何ヲ見ントシタリコハコーンスタム氏ノ說ニ從ヒ側索核カ脊髓ト密接ナル關係ヲ有スルニ反シ下橄欖體カ何等ノ直接ノ關係ヲ有セストノ前提ニ基ツキ既述ノ細胞群カ側索核ニ非ラサルヤ否ヤヲ知ラントシタルニ由ル今此兩種ノ實驗ニ於ケル成績ノ大要ヲ記セハ左ノ如シ

鳩ノ延髓ニ於テ舌下神經ノ領域ニ一致シ延髓ノ腹緣ニ近ク縫際ノ兩側ニ於テ中等大ノ充分發達セル一定ノ神經細胞ノ群集アリ而シテ舌下神經ハ常ニ其內緣ニ近ク貫通セリ小腦ヲ破壞スル時ハ此ノ細胞群ハ反對側ニ於テ殆ント全ク變性ス而シテ小腦ノ前半ハ細胞群ノ前半ニ一致スルカ如キ關係ヲ有スマルキー氏法ニヨル時ハ小腦ハ僅カノ弓狀纖維ニヨリテ同側及反對側ノ細胞群ト聯結セラル、モノナルコトヲ知ル此細胞群ハ脊髓ト直接ノ關係ヲ有セス著者ハ以上ノ成績ニヨリ此細胞群カ全ク哺乳動物ニ於ケル下橄欖體ニ一致スル者ナリト斷言セリ

著者ハ以上ノ實驗的研究ニ加フルニ諸鳥類ニ於ケル既述ノ細胞群ノ比較解剖學的研究ヲ以テシ實驗的研究ノ成績ヲ補ヒ尙ホ下橄欖體ノ官能ニ對スル一定ノ見解ヲ得タリ其結果ヲ略述スレハ左ノ如シ

鳥類ニ於ケル下橄欖體ハ大體ニ於テ其形ヲ二樣ニ區別スルコトヲ得第一種ニ屬スルモノハ最モ屢々見ルモノニシテ脊髓ヨリ大腦ノ方向ニ追究スル時ハ先ツ一ツノ橫位ノ小板ヨリナリ後殆ント外方ニ門（「ヒールス」）ヲ有スル一ツノ回轉トナリ其中背側ニ位スル小板ハ哺乳動物ニ於ケルカ如キ性質ヲ有シ腹側ノ小板ハ只其最モ腹側ニ位スル部ニ於テ稍々之ニ類似ノ性質ヲ有ス內側ニ位スル者ハ細胞ニ乏シク多クノ纖維ニヨリテ貫通セラル大腦ノ方向ニ進ムニ從ヒ腹側ノ小板ハ漸次消失シ遂ニ背側ノ小板ニ於ケル內方ノ一部分ノミトナル後者ノ一部分カ舌下神經ニヨリテ他ノ部分ヨリ切離セラレ恰モ獨立セル核ノ如キ觀ヲ呈ス此種ニ屬スルモノハ著者カ檢査セル鳥類ノ多數卽チ鳩、雀、火鷄、鶯、烏、鵝、鸚鵡、鵠ニ於テ之ヲ見ル而シテ各動物ニ於ケル橄欖體ノ差異ハ彼ノ腹側脚發育ノ大小ニアリ而シテ後者ハ游泳鳥類ニ於テハ他ノ類ヨリモ發育少キカ如シ

第二種ニ屬スルモノハ著者ハ唯駝鳥ニ於テノミ見タルモノニシテ腹側脚ハ全ク缺損シタメニ回轉ナク之ニ反シテ背側ノ小板カ比較的著シク發育セルヲ見ル此成績ヲ概觀スル時ハ橄欖體發達ノ關係ヲ哺乳動物ニ於ケルモノト比スルニ後者ニアリテハ橄欖體カ眞直ナル姿勢ニ大關係ヲ有スルモノトシテ人類ニ於テ最モ發達セルニ反シ鳥類ニアリテハ却テ其發達ノ程度カ飛翼ノ發達ト正比例スルモノノ如ク故ニ其ノ官能モ亦タ飛翼ノ運動ト一定ノ關係ヲ有スルモノナラン

胼胝體ノ視力作用ニ對スル關係ニ就テ（獨文）

著者ハ大腦皮質カ種々ナル部位ニヨリ種々ナル官能ヲ代表スルニ鑑ミカノ胼胝體カ連合纖維トシテ左右ノ兩腦半球ヲ連結スルニ當リ其種々ナル部位ニヨリテ互ニ異ナレル官能ノ媒介者タルヘク從ツテ之レカ切斷ニヨル缺損症狀モ亦タ其部位ニヨリテ同一ナラサルヘシトノ前提ノ下ニ主トシテ實驗生理學ノ手段ニヨリ兩腦半球殊ニ視神領トシテ後頭葉カ胼胝體ニヨリテ連結セラル、關係ヲ知ラントシ數多ノ犬ニ就キ興味アル諸種實驗ヲ行ヘリ著者ハ上述ノ目的ニ對シカノエックスネル、ヒッチヒ氏等ノ報告セル如ク動物ノ大腦皮質ニ於テ其後頭葉ノ一部又ハ運動領ヲ抽出スルトキハ一時性ノ視力障碍卽偏側弱視症ヲ起スノ事實及ヒ大腦皮質ノ損傷ト同時ニ胼胝體ヲ兩斷スルトキハ永久性ノ視力障碍ヲ起シ單一ナル腦皮質ノ損傷ニヨル視力障碍カ消失シタル後胼胝體ヲ縱斷スルトキハ再ヒ視力障碍ヲ起シ而カモ永久性ナリトノ今村氏ノ報告ヲ基礎トナシ大腦皮質ノ種々ナル部位ニ於ケル抽出ニ加フルニ胼胝體ノ種々ナル部位ニ於ケル切斷トヲ以テシ之レニ伴フ視力障碍ノ經過ニ及ホス影響如何ヲ觀察シテ大要左ノ如キ斷案ヲ下セリ

動物ニ於テ一側ノ大腦半球ノ皮質カ損傷セラル、時ハ其後頭葉卽神領ナルトヨリ來ルノ證ナリトナシ後頭葉ノ手術毎ニ起ル視力障碍ヲ同纖維ノ損傷ニヨルモノナリトセリ換言スレハ兩側後頭葉ノ皮質ハ胼胝體ノ後半部ヲ經過スル連合纖維ニヨリテ連結セラル、モノナリ著者ハ尙ホ後頭葉ト運動領トヲ抽出ヲ合併セル實驗ニヨリカノヒッチヒ氏ノ報告卽動物ノ一腦半球ノ後頭葉若シクハ運動領ヲ損傷シ之レニヨル視力障碍カ消失シタル後同側ノ運動領若シクハ後頭葉ヲ抽出スルモ新シキ視力障碍ヲ顯出セストノ報告ノ事實ナルコトヲ確メ之レヲ組織病理學上ヨリ後頭葉ノ直接又ハ間接ノ損傷ニヨリテ說明セントシ此事實及胼胝體切斷ノ實驗成績ニ照シ後頭葉ヲ以テ中心性視力作用ニ對スル主要ノ代表部トナスヲ至當ナリト主張セリ

又運動領ナルトヲ問ハス一定ノ視力障碍卽チ反對側ノ偏側弱視症ヲ起スモ一時性ニシテ一定時ノ後消失ス而シテコハ他側ノ腦半球ニヨリテ其官能ヲ代償セラル、ニヨルモノニシテ此ノ代償ハ何レノ場合ニ於テモ胼胝體ノ後半部ニ於ケル纖維ヲ介スルモノニシテ前半部ニ於ケル纖維ハ此關係ニ於テ何等ノ用ヲ有セサルモノナリトス著者ハ尙ホ進ンテ此ノ胼胝體ノ後半部ニ於ケル纖維カ後頭葉ヨリ來ルモノナルヤ否ヤヲ確メントシ同一ノ犬ニ於テ後頭葉ノ一部ヲ數次ニ抽出シタルニ其都度新シキ視力障碍ヲ起シ而カモ手術ノ數ヲ重ヌル每ニ其程度ヲ增シ經過モ亦タ漸々長キヲ見タリ著者ハ之レヲ以テ他側ノ腦半球ニヨル視覺官能代償ノ媒介者タル胼胝體纖維カ後頭葉ノ皮質ヨリ來ルノ證ナリトシ後頭葉ノ手術每ニ起ル視力障碍ヲ同纖維ノ損傷ニヨルモノナリトセリ換言スレハ兩側後頭葉ノ皮質ハ胼胝體ノ後半部ヲ經過スル連合纖維ニヨリテ連結セラル、モノナリ著者ハ尙ホ後頭葉ト運動領トヲ抽出ヲ合併セル實驗ニヨリカノヒッチヒ氏ノ報告卽動物ノ一腦半球ノ後頭葉若シクハ運動領ヲ損傷シ之レニヨル視力障碍カ消失シタル後同側ノ運動領若シクハ後頭葉ヲ抽出スルモ新シキ視力障碍ヲ顯出セストノ報告ノ事實ナルコトヲ確メ之レヲ組織病理學上ヨリ後頭葉ノ直接又ハ間接ノ損傷ニヨリテ說明セントシ此事實及胼胝體切斷ノ實驗成績ニ照シ後頭葉ヲ以テ中心性視力作用ニ對スル主要ノ代表部トナスヲ至當ナリト主張セリ

脈絡叢細胞ノ組織顯微化學的關係ニ就テ（同細胞ノ腦脊髓液分泌論）（獨文）

著者ハ脈絡叢カ果シテ一種ノ腺トシテ腦脊髓液ノ主成分若クハ全部ヲ分泌スルヤ否ヤノ問題ヲ解決センカ爲メニ組織顯微化學的方法ニヨリ人類ノ脈絡叢細胞ヲ檢査セリ「サフラニン」ニヨル概觀的染色ニヨレハ該細胞內ニハ種々ノ大サヲ有スル若干ノ胞腔アリテ往々細胞ノ表面ニ膨出シ若クハ已ニ其外ニ出テタルモノアリ細胞內ニハ尙種々ノ理由ニヨリオーベルスタイネル氏ノ所謂細胞新陳代謝物ノ殘物ト同一視スヘカラサル鮮黃色ノ色素及ヒ其ノ前階トモ見做スヘキ「サフラニン」ニヨリ赤ク染色スル圓形顆粒アリニッスル及ヒビールショウスキー氏染色標本ニ於テモ細胞ノ造構ハコレト同樣ニシテ殊ニ三箇ノ核小體カ核ノ外緣ニ點位シ其分泌ニ何等カノ關係アルヲ思ハシムルモノアリフレムミング氏液ニヨリ固定セル標本ハ細胞內ニ「オスミューム」ニヨリ黑染スル許多ノ成形ノ存在ヲ示シ其ノ或ルモノハ密實ナルモ或ルモノハ胞腔狀ニシテ且ツ恰モ小滴ノ集合ヨリ成ルカ如キ造構ヲ有スマルキー標本及ヒ「レチチン」ヲ染色センカ爲メニ特ニ豫メ「アッニトン」ヲ以テ固定セル標本ニテモ是等ノ黑色被染物存在スルモ其數少ク且其ノ胞腔狀ヲナスモノニアリテハフレムミング氏固定標本ニ見ルカ如キ幅廣キ黑色ノ外緣全カラスシテ多少其內容ノ狀態ヲモ異ニセリ

蛋白質樣物質ノ染色法殊ニワイゲルト氏ノ「フィブリン」染色法ニヨリタルモノニ於テモ胞狀體及其內容タル微小顆粒ノ關係ハ略ホ脂肪及「レチチン」染色ニ於ケルモノニ類似ス「ムチン」染色ハ全然陰性ナリキ「グリコゲーン」ハベスト氏法ニヨリテ或ル細胞ニアリテハ其胞腔內ニモ細胞ノ表面ニモ著明ニコレヲ證明スルヲ得タリ以上ノ所見ニヨリ脈絡叢細胞カ一種ノ分泌機能ヲ營ミ其分泌物カ複雜ナル化學的構成ヲ有シ或ハ細小ナル球狀體ノ集合トナリ或ハ大ナル胞狀體トナリテ分泌セラル、モノナルヲ知ル而シテ腦脊髓液ノ化學的構成カ完性的ニ甚タコレニ一致シ該液ノ分泌ト脈絡叢トノ間ニ密接ナル關係ノ存スルハ最早疑ヒ容ル、ノ餘地ナキモノトス

メンデル氏足背反射ニ就テ（獨文）

メンデル氏ハ足背ノ叩打ニヨリ生理的ニハ第二乃至第五趾ノ背屈ヲ起シ病的ニ反射亢進セル場合ニハ其ノ蹠屈ヲ起ストイヒシモ著者ハ多少コレヲ改竄敷衍スルノ必要ヲ認メタリ著者ノ實驗ニヨレハ健康者ニアリテハ足背ノ輕打ニヨリテ共同趾背屈短筋ノ收縮ニヨリ第一乃至第四趾ノ背屈及ヒ蹠骨間部ノ叩打ニヨリテ蚓樣筋及骨間筋ノ收縮ニヨル足趾ノ內轉若クハ外轉ヲ來シ足蹠ノ強打ニヨリテ共同趾蹠屈短筋ノ收縮ニヨリ第二乃至第四趾ノ蹠屈ヲ起スモ是等ノ運動ハ何レモ反射的ニ起ルニアラスシテ單ニ筋肉ノ器械的刺戟ノ結果ニ外ナラスメンデル氏反射ハ足背ノミナラス亦足蹠殊ニ其ノ前半ヲ打ツコトニヨリテ著明ニ起リ加之反射ノ亢進極度ナル場合ニハ常ニ足背ヨリモ却テ足蹠ノ方カ確實ニコレヲ發現セシムルヲ得故ニ著者ハ　メンデル氏ノ足背反射ハ本來一種ノ足蹠反射ニ

シテコレヲ屈趾足蹠反射ト命名センコトヲ提言セリ此ノ現象ハ種々ノ理由ニヨリ筋肉ノ器械的興奮トシテ全然關係ナキモノナリ

ベヒテレフ氏ハバビンスキー氏現象陽性ナル場合ニハ常ニ此ノメンデル氏反射ヲ證明スルヲ得トイフモ著者ニヨレハ其ノ關係却テ相反シメ氏反射カ何レノ部分ヨリモ發現セサル時ニモ足背ノ外側ヲ擦過スレハ踇趾著明ニ蹠屈スルヲ認ム故ニ著者ハメ氏反射陽性ナル場合ニ單ニ足蹠ヲ刺戟スルノミニテ直ニバ氏現象ノ缺如ヲ速斷スヘカラサルコトヲ注意シ若シ將來バ氏及ヒメ氏兩現象ヲ各足背及足蹠ノ兩面ヨリ探求セハ相互ノ關係ノ一層親密ナルヲ闡明スルヲ得ント說ケリ

バビンスキー氏現象ノ反射領ノ廣袤ニ就テ（獨文）

器械的刺戟ニヨリテバ氏現象ヲ發現スヘキ皮膚ノ領域所謂反射領ハ比較的廣ク往々上腿ノ後部ヨリ會陰邊ニ及フモノナリ著者カ七例ノ脊髓疾患二十例ノ純腦疾患及ヒ十一例ノ腦脊髓疾患合計三十八名ノバ氏現象陽性ナル患者ニ就テ精査セル所ニヨレハ

一　純脊髓疾患ト純腦疾患トハ反射領ノ廣袤ヲ異ニシ前者ハ後者ヨリモ遙カニ廣シ而シテ腦脊髓疾患ハ其中間ニ位ス

二　脊髓疾患ニアリテハ橫斷損傷ノ高サハ其腰髓斷區ノ上ニ位スル以上ハ反射領ノ廣袤ニ何等ノ關係ヲ有セス

三　腦疾患ニアリテハ錐體經路ノ損傷著シキホト反射領ハ廣キモノヽ如シ最モ兩者ハ必シモ常ニ平行スルモノニアラス

四　大腦ノ散在性疾患例ヘハ多發硬化症等ニアリテハ假令運動經路ニ著シキ障碍ナクシテ皮質ノ反射制止作用減損セサル場合ト雖モバ氏現象ノ反射領ハ甚タ廣シ

以上ノ事實ヲ說明スルニ通常ノ腦性偏癱ニ於テ皮膚反射カ健側ニ亢進スルヲ以テ知ラルヽ如ク患側ノ腦半球ハ獨リ反對側ノミナラス亦同側（健側）ノ皮膚反射ニモ其ノ反射制止作用ノ脫失ニヨリテ影響スルモノニシテ換言スレハ一側ノ皮膚反射興奮性ハ常ニ兩半球ノ制止作用ヲ受クルニヨリ損傷一側ノ半球ニ止マル如キ腦疾患ニ於テハ兩半球ノ損傷（多發硬化症）若クハ兩側ノ錐體道ノ障碍（脊髓疾患）ニ於ケルヨリモ其反射制止作用ノ脫失少ナク從テ皮膚ノバ氏反射領モコレヨリ狹シトス著者ノ檢査シタル各症例ニ關スル要項ハ表ヲ以テコレヲ列記セリ

バビンスキー氏現象ニ就テ（獨文）

著者ハ西曆千九百〇六年ヨリ同七年ニ亙リ東京帝國大學醫科大學ニ於テ多數ノ外來及入院患者ニ就キバビンスキー氏現象（以下馬氏現象ト稱ス）ノ研究ニ從事シ其結果臨床上及學理上興味アル且ツ有益ナル諸種ノ新事實ヲ發見セリ

著者ハ先ツ馬氏現象ノ主要徵候タル下肢殊ニ足趾ノ反射的運動ヲ健康者ニ於ケル足蹠反射ノソレト比較シ同現象ノ定義ヲ明ニシ進ンテ同現象ノ誘起ニ要スル刺戟ノ種類及方法ヲ查定シ同現象ニ對スル皮膚ノ反射領ノ分布ニ一定ノ規則アルヲ知リ猶ホ同現象ノ生理的性質及發生ノ器機的關係（メハニスムス）ヲ講究シ又同現象ト下肢ノ運動力皮膚ノ知覺竝ニ腱及皮膚反射トノ關係ヲ明ニシ其他初生兒及乳兒ニ於ケル足蹠反射竝ニ一般ニ下肢ニ於ケル諸種ノ病的皮膚反射ト同現象トヲ比較對照シ遂ニ臨床上重要ナル同現象ノ診斷的價値ヲ定メタリ今著者ノ得タル成績及結論ノ概要ヲ示セハ左ノ如シ

一　馬氏現象ハ大人ニ在リテハ一ツノ病的皮膚反射ナリ

二　初生兒及乳兒ニ在リテハ殆ント生理的ニ馬氏現象ト類似ノ反射運動アルヲ見ル

三　馬氏現象ニ於ケル主要徵候ハ踇趾背屈筋ノ緊張性（場合ニヨリ其度ニ強弱ノ差ハアルモ）攣縮ニ因ル踇趾ノ緩慢ナル背屈ニアリ

四　爾餘ノ足趾ニ於ケル反射運動ノ關係ハ踇趾ノ如ク一定セス或ハ背屈シ或ハ蹠屈シ時トシテ不動ノ事アリ

五　馬氏現象ニ於ケル特有ナル隨伴運動ハ足ノ背屈內轉及ヒ迴後ニ加フルニ膝及股關節ニ於ケル屈曲ナリ

六　馬氏現象誘起ニ對シテハ器械的刺戟ニ止マラス溫的及電氣的刺戟ヲ以テスルモ等シク有效ナリトス

但シ其際刺戟ノ時間的竝ニ場所的集合ヲ用フルコトニ注意スヘシ

七　一般ニ馬氏現象誘起ノ難易ハ刺戟ノ強弱ヨリモ寧ロ所謂「反射領」ト密切ナル關係ヲ有ス

八　馬氏現象ニ對スル反射領ハ個人的ニ若シクハ病竈或ハ疾患ノ種類ニヨリ多少ノ不同アルモ一般ニ足蹠ニノミ限局セスシテ下肢ニ於ケル爾餘ノ皮膚部（稀ニハ其ノ上部）ニ擴カル

九　右反射領ノ分布ハ詳言スレハ薦骨髓ヨリ來ル知覺神經根ノ皮膚ニ於ケル分布領ニ相一致ス故ニ同反射ノ中樞ハ恐ラク薦骨髓ノ高サニ在ルナルヘシ

十　以上ノ反射領中足背ノ外緣ハ馬氏現象ノ誘起ニ對シ最モ好適ノ皮膚部位ニシテ足蹠ノ外緣之レニ次ク

十一　馬氏現象ハ腦性反射ニアラスシテ脊髓性反射ニ屬ス

十二　馬氏現象ト下肢ニ於ケル腱反射ノ亢進及ヒ運動障碍ノ程度トハ直接ノ關係ヲ有セス

十三　馬氏現象ト皮膚知覺トノ關係モ亦同樣ナリ

十四　オッペンハイム氏ノ所謂下腿反射ナルモノハ下腿ノ刺戟ニヨリ誘起セル馬氏現象ニ外ナラス而シテ該反射ノ誘起ニ對シテハオッペンハイム氏ノ指定セル下腿ノ內側ヨリモ寧ロ外側之レニ適シ後面ハ猶一層好適ノ皮膚部位ナリトス

十五　シェーフェル氏ノ所謂「拮抗筋性反射」及フォンベヒテレン氏ノ所謂足及足蹠ノ蹠出ニヨル一種ノ特有ナル反射的現象ナルモノハ共ニ馬氏現象ト同一物ニシテ只タ其反射ノ誘起ニ要スル刺戟ノ方法ノ異ナルト皮膚ニ於ケル刺戟部位ノ特別ナルヲ差トスルノミ

十六　馬氏現象ノ陽性ナル場合ハ錐體經路ノ器質的若クハ官能的障碍ノ存在ヲ意味ス然レトモ反射ニ同現象ノ陰性ナルハ必スシモ錐體經路ノ健全ヲ證明スルニ足ラス

十七　初生兒及乳兒ニ於ケル馬氏現象類似ノ反射ハ錐體經路ノ發育完成セサルニ依ル

以上論文ハ學術上有益ニシテ吉村喜作ハ醫學博士ノ學位ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スルモノト認定ス

（未完）

○學生入學宣誓式　東京帝國大學ニ於テ本月八日例ニ依リ學生入學宣誓式ヲ行ヘリ其學生ノ氏名竝ニ豫修學校等區別左ノ如シ（文部省）

大學院

法　杉村　幹
法　鈴木　安一
法　佐藤　密
法　川崎　錄壽
法　土居　寛申
法　伊藤　清
法　富永　義通
法　前田　直造
法　三澤　源三郎
法　辻川　瀧之助
法　江橋　活朗
法　田部　環
法　志村　芳雄
法　堀江　季雄
法　淺見　與四藏
法　柳谷　午郎
法　高島　清吉
法　吉田　信久
法　塚原　嘉藤
法　三木　寛治
法　上杉　復男
法　檜山　正敏
法　鈴木　榮司
法　石田　弘吉
法　川崎　善四郎
法　永井　準一郎
法　近藤　達見
法　川淵　千藏
法　山井　基幹
法　酒井　忠政
法　田中　信助
法　岩永　裕吉
法　中野　道明
法　今井　俊彦
法　和田　一郎
法　栗本　快一
法　原田　助市
法　澤田　節藏
法　鈴木　文治
法　尾崎　秀雄
法　遠藤　柳作
法　宮地　茂秋
法　原　佐一
法　中野　直吉
法　德川　慶久
法　高木　陸雄
法　初見　謙助
法　蛯子　義一
法　近　幹之助
法　三樹　退三
法　佐藤　吉郎
法　飯塚　祇吉
法　鶴川　清
法　松濤　菊五郎
法　横山　三穗
法　倉富　鈞
法　堤　嘉三
法　鶴見　祐輔
法　小西　善次郎
法　五味　均平
法　吾妻　耕一
法　古仁所　豐
法　立松　省三
法　高武　公美
法　中島　三代彥
法　後藤　多喜藏
醫　丹羽　元亮
醫　田中　信六
醫　高橋　明
醫　瀨川　昌世
醫　安齋　幹一
醫　飯島　庸德
醫　加藤　義夫
醫　矢尾板　誠衆
醫　山川　章太郎
醫　松岡　銳作
醫　田上　審
醫　機戶　悅造
醫　黑瀨　祐吉
醫　藤懸　廣
醫　五斗　欽吾
醫　神尾　友修
醫　太田　登志彥
醫　石原　房雄
醫　田澤　鐐二
醫　木村　男也
醫　小山　憲佐
醫　田口　文太
醫　磯野　周平
醫　服部　彌平
工　秋山　增人
工　內田　祥三
工　井出　健六
工　內藤　多仲
工　稻垣　鐵郎

工　今井　文平
工　池田　正夫
工　三浦　勝
文　元良　信太郎
文　竹島　寛
文　石坂　大嚴
文　岡田　秀夫
文　青木　正
文　堀田　相爾
文　土居　光知
文　佐藤　莊一郎
文　安富　成中
文　小尾　範治
文　豐田　穰
文　源　貞英
文　松村　武雄
文　東條　操
理　栗原　武一郎
理　渡邊　徹
理　前川　萬次郎
理　木村　善太郎
理　永澤　六郎
理　朴澤　三二
理　志賀　潔
理　西　久光
理　青木　文一郎
理　鈴木　靖
理　石川　光春
理　小山　一郎
理　兒玉　親輔
理　青木　芳彥
理　西川　正治
理　飯盛　里安
理　赤羽　英雄
理　池田　晏平
理　杉浦　二郎
農　岩根　一
農　渡邊　滿太郎
農　工藤　六三郎
農　田中　長三郎
農　居初　寛二郎
農　羽下　昂治郎
農　葛西　勝彌
農　川瀨　惣次郎
農　色川　三男
農　磯山　謙太郎

法科大學

政治學科卒業受驗生

檢　鍾　寶言
檢　周　家彥

政治學科第四回受驗生

檢　鈴木　康

同第三回受驗生

檢　陳　治安
山（再）　藤村　三郎
四（再）　加藤　虎之助

法律學科第二回受驗生

一（再）　橫山　諦嚴
四（再）　得能　通義
六（再）　加藤　喜一

法律學科第一回受驗生

五　猪原　敬勝
一　祝　島男
二　伊藤　勝職
五　伊藤　孝
七　伊藤　忠義
三　伊藤　英三郎
一　伊藤　信燮
三　伊藤　廣之助
六　市川　爲吉
一　市村　勵二
六　市村　英治
六（再）　一條　久
二　板橋　元
一　井田　輝吉
四　磯江　泰雄
五　池田　確二
六　池田　卓一
二　池田　忠作
五　池內　嘉壽彥
一　今井　源眞
二　伊手　衛
一　石原　濟作
一　石原　雅二郎
三　石川　時之助
一　石川　芳太郎
一　石川　重男
二　石山　安太郎
二　飯澤　高
一　飯島　浦次
一　花岡　芳夫
六　早川　三郎
一　萩原　貞光
一　萩庭　重二郎
五　橋詰　瀞吉
二　橋本　諒亮
一　新居　一郎
一　牲川　角之助
五　西原　松平
四　西脇　虎二郎
一　西川　誠
二　堀內　信一
二　本間　勤
三　本咲　利之助
五　土井　正哉
三　戶倉　嘉市
四　泊　武治
六　土居　時眞
五　千綿　榮六
五　陣山　英紀
五　大原　昇
七　大竹　信治
二　大塚　守穗
三　大塚　藤吾
四　大村　利昌
三　大野　新一郎
一　大熊　善吉
二　大關　唯鳩
五　小川　藤治郎
二　小川　信春
五　岡部　常
二　岡田　邦彥
三　岡田　源太郎
一　岡田　恭三
三　岡山　陽
三　小笠原　正孝
七　小田部　誠
七　奧田　剛郎
七　小澤　丈夫
一　尾崎　伊勢雄
五　荻原　竹治郎
三　沖原　定
四　帶川　市右衛門
四　帶金　悅之助
四　渡邊　達也
一　渡邊　軍治
六　渡邊　里樹
七　渡邊　北海
二　涌澤　正止郎
七　河原　伊三郎
一　川西　實三
六　河田　隆治
四（再）　川名　安衞
一　河村　政一
三　河野　光雲
二　金子　十造
一　陸山　錄次郎
二　柏田　忠一
五　橫山　正
三　吉原　隆次
五　吉富　重任
七　吉田　眞次
六　田井　延次郎
三　橋　眞貫
五　高橋　眞男
三　高橋　毅一郎
六　高橋　仰之
一　高田　完
二　高田　康
四　高野　松太郎
六　高安　禮三郎
五　高松　進
七　立野　隆
五　種田　貞一
七　種田　強哉
七　田中　榮藏
三　田中　龜
一　田村　鐵輔
一　玉井　忠一郎
七　田丸　貞顧
六　竹井　康
一　竹林　恒三
四　竹村　川二
二　竹內　健郎
七　竹島　憲
五　田坂　武彥
六　田島　義士
一　孫田　秀春
一　土屋　長一
一　津田　勋
六　根矢　庄次郎
五　根本　成道
一　中原　庸
六　中西　保利
五　中西　識一
三　中川　粟直
四　中村　泰治
七　中村　銀作
五　中村　榮四郎
五　中里　文雄
五　中島　近江
六　中島　重
一　中瀨　捆夫
二　村田　武
二　村上　雄治
二　村上　駿
三　村上　季平
五　村瀨　直養
三　村田　莊太郎
三　上野　登輝雄
四　鵜飼　務
七　上坂　吉次
五　內山　十平
五　魚住　正雄
四　黑岩　順三
一　黑田　誠
一　工藤　義男
一　桑波田　千躬
六　倉西　太郎
四　藏重　久
四　熊谷　誠
七　草場　實治
三　草野　周一
三　公莊　惟和
六　谷　充國
六　柳澤　英一郎
六　山田　万七
六　山田　敬太郎
四　山田　昌作
一　山口　政二
六　山口　榮治郎
四　山口　作之助
一　山口　義一
六　山谷　省吾
五　山本　源三郎
四　山本　七五三洲
七　矢崎　重成
一　安田　忠治
五　安武　直夫
六　間原　長次郎
一　曲淵　最知
七　眞鍋　安治郎
一　眞野　毅
二　松林　恒
五　松川　主一
一　松永　又一郎
一　松永　正虎
一　松村　鉄男
四　松村　久太郎
四　松浦　欣
一　松島　源藏
六　松木　蕭
二　見目　周造
七　藤井　陳三
七　藤井　達也
三　藤井　正軌
二　藤原　喜藏
一　藤招　藤七郎
五　藤村　東
四　古田　正武
四　古山　茂夫
四　深野　緒一
一　船橋　金十郎
一　福澤　文夫
一　福島　繁三
一　小林　金之助
一　小林　俊三
二　後藤　穆
一　近藤　與次郎
四　近藤　三郎
二　近藤　誠之
二　今　益之助
五　越川　道三
三　小森　久馬
五　衛藤　道三
三　遠藤　與一郎
二　榎本　重治
四　寺井　嘯逸
五　相原　守正
二　纓場　英二郎
二　阿部　溫知
三　阿部　直之
四　阿部　斗二
二　有川　治助
四　赤間　信義
一　赤峰　哲夫
六　明石　九一
一　安達　欽久
三　安達　太助
一　荒井　誠一郎
七　荒川　淳
三　安藤　儁二郎
七　阿能　彌一郎
三　安部　憲
四　淺井　田四郎
七　淺野　富藏
七　淺山　七五三
三　淺見　六郎
四　秋元　收之助
四　齋藤　熊雄
七　齋藤　雄三
四　齋藤　省一郎
一　澤田　康三
六　澤田　正夫
一　佐原　憲次
七　澤　鑑治
一　佐伯　瀧松
一　佐藤　守
一　佐海　直隆
四　酒井　英次郎
四　坂井　末吉
一　酒卷　芳男
五　坂崎　成敏
一　笹岡　敏男
一　佐々木　國重
五　佐々木　文四郎
七　魏　宗蓮
一　橘川　光子
三　岸本　喜一郎
五　湯嶋　敏助
四　湯本　二郎
一　三谷　隆正
七　浦尾　英彥
六　三津川　好照
七　水田　貞吉
七　三浦　久一
一　三木　義久
七　柴崎　五十二
三　鹽川　續夫
七　鹽田　茂吉
七　史澤　成
五　品川　濟
三　嶋津　兼三郎
七　下坂　八郎
一　下條　貞彥
四　廣田　七郎
四　平山　勘
六　日野　鴻巖
一　樋口　實
一　日疋　誠
五　森　富三郎
一　森田　豐次郎
五　森長　益三
五　守屋　麿瑳夫
四　守山　茂松
二　清野　鳴雄
二　泉對　信之助
一　膳　桂之助
七　關　義隆
一　關根　俊平
一　關口　泰
四　關屋　延之助
五　須之內　品吉
一　鈴木　多嘉治
二　鈴木　康道
四　鈴木　鐵雄

政治學科第一回受驗生

一　岩崎　重三
一　岩切　重雄
六　岩城　茂
三　糸川　勇次郎
四　伊東　與義
二　伊藤　利太郎
二（再）　伊藤　克仁
五　伊東　祐輝
一　稻山　始
三　井上　治郎
一　井上　龜太郎
五　井上　政信
二　飯田　九州雄
六　春名　喜四郎
五　原田　頼吾
七　濱田　收藏
七　長谷川　清
七　新居　格
一　堀田　正恒
一　堀永　四郎
一　堀內　茂智
四　本田　秋憲
四　保坂　成治
五　德永　修一
五　時任　爲文
二　千葉　憲三郎
四　長　基連
五　大橋　陸一郎
七　大武　泰助
五　太田　文雄
六　太田　貫

見本

8195 5

第8195号　本文

○金融機關

○全國各銀行貸借對照表

千百七十九、資本金六億九千八百九十八萬八千四百九十四圓ニシテ前月末現在ノ全國各銀行ノ總資本金ニ比スレハ資本金百十二萬六千五百圓ヲ增加セリ（大藏省）

○全國各銀行貸借對照表

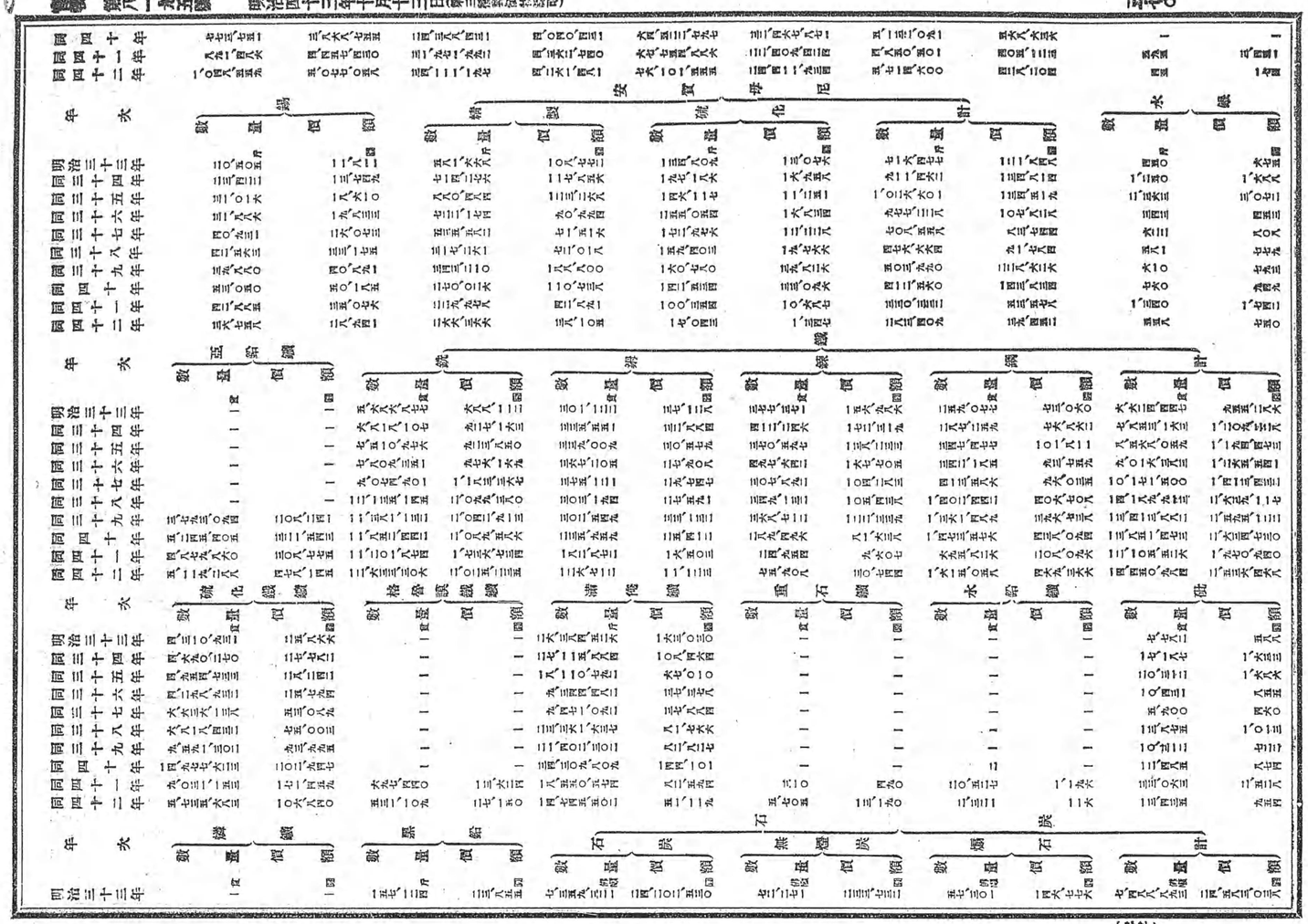
千百七十九、資本金六億九千八百九十八萬八千四百九十四圓ニシテ前月末現在ノ全國各銀行ノ總資本金ニ比スレハ資本金百十二萬六千五百圓ヲ增加セリ（大藏省）

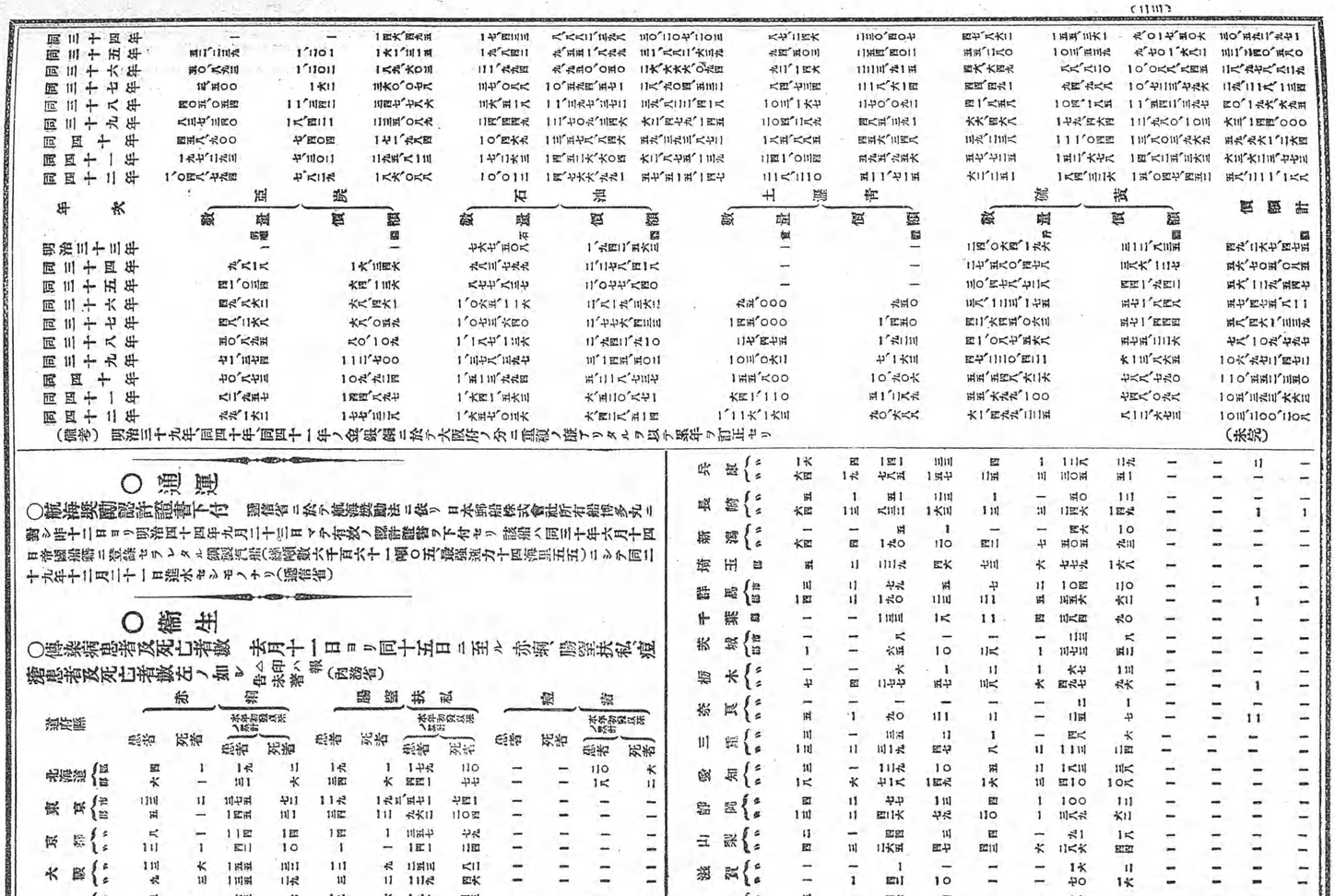
○農產

○夏作米況續報（十月中旬）

第 8195 号　本文

第 8195 号　本文





年次	鍋 數量	鍋 價額	安賀母尼 精製 數量	安賀母尼 精製 價額	安賀母尼 硫化 數量	安賀母尼 硫化 價額	安賀母尼 計 數量	安賀母尼 計 價額	水銀 數量	水銀 價額
明治三十三年	二〇、五〇五斤	一一、八一一圓	五八一、六六六斤	一〇八、七七二圓	一三五、八〇九斤	一三、〇七六圓	七一六、四七七斤	一二一、八四八圓	四五〇斤	六七五圓
同三十四年	二三、四二二	一三、七四九	七一四、二七六	一一七、六五六	一六七、一八六	一六、九五八	九一一、四六二	一三四、八一四	一、二四〇	一、六八八
同三十五年	三一、〇一六	一八、六一〇	八八〇、四八四	一二三、二六八	一四六、一一七	一一、二五一	一、〇二六、六〇一	一三四、五一九	二、三六三	三、〇七二
同三十六年	三一、八六六	一九、八三三	七二二、一七四	九〇、九九四	二五五、〇五四	一六、八三四	九七七、二二八	一〇七、八二八	三四三	四五三
同三十七年	四〇、九三一	二六、〇七三	五三五、五八二	七一、五一六	一七一、九七六	一二、二二八	七〇八、五五八	八三、七四四	六二二	八〇八
同三十八年	四二、五六三	三三、一七五	三一七、二六一	七二、〇一八	一五九、四〇三	一九、七六六	四七六、六六四	九一、七八四	五一一	七七九
同三十九年	三九、八八〇	四〇、八九一	三四四、二一〇	一八八、八〇〇	一六〇、七八〇	三九、八二六	五〇三、九九〇	二二八、六二六	六一〇	七九三
同四十年	五三、〇五〇	五〇、一八五	二七〇、〇二六	一一〇、七三八	一四二、五三四	三四、〇九六	四一二、五六〇	一四三、八三四	七六〇	九四九
同四十一年	四二、八八五	三五、〇七六	二二六、七七八	四二、八九一	一〇〇、三五四	一〇、六八七	三五〇、三三二	五三、五七八	一、三四〇	一、七四二
同四十二年	三六、七五八	二八、九四一	二六六、四六六	三八、一〇五	一七、〇四三	一、三四七	二八三、四〇九	三九、四五二	五五八	七五〇

年次	亞鉛鑛 數量	亞鉛鑛 價額	鐵 鐵 數量	鐵 鐵 價額	鐵 鋼 數量	鐵 鋼 價額	鐵 鋼 數量	鐵 鋼 價額	鐵 鋼 數量	鐵 鋼 價額	鐵 計 數量	鐵 計 價額
明治三十三年	一貫	一圓	五、六八六、八七七	六八八、一一二	三〇一、一二二	三七、一二八	三七七、三七一	一五六、九八六	二五九、〇七七	七三、〇六〇	六、六一四、四四七	九五五、二八八
同三十四年	一	一	六、八一八、一〇七	九二七、一六三	三三五、五五一	三二、八八四	四一二、二四六	一七二、三一九	二八七、二五九	七六、八六二	七、八五三、一六三	一、二〇六、三二八
同三十五年	一	一	七、五一〇、九七六	九二三、八五〇	三三九、〇〇九	三〇、五七九	三七〇、五九七	一三六、二三三	三四七、四七七	一〇一、八一一	八、五六八、〇五三	一、一九四、四七三
同三十六年	一	一	七、八〇九、三五一	九七六、一六九	三六七、二〇五	二七、九〇八	四九七、六四二	一六七、七〇五	三四二、一八五	九三、七五九	九、〇一六、三八三	一、二六五、五四一
同三十七年	一	一	九、〇七四、九〇一	一、一八三、三六七	三七五、一二一	二九、七四七	三〇七、八九二	一〇四、二八三	四一三、五八六	九六、〇三五	一〇、一七一、五〇〇	一、四一三、四三二
同三十八年	一	一	一二、一三五、一四五	二、〇九九、三八〇	三〇三、一九四	二七、五九一	三四九、一三二	一〇五、四三八	一、四〇二、四四二	四〇六、七〇八	一四、一八九、九三三	二、六三九、一一七
同三十九年	一	一	一一、三八一、一三二	二、〇四二、九一三	三〇二、五四九	三三、一三二	三六八、七一二	一二二、三三九	一、三六一、四八九	三九六、七三八	一三、四一三、八八二	二、五九五、一二二
同四十年	一	一	一一、八五二、四四二	二、〇八九、五八六	二三五、九五九	二五、四一二	二八九、四九六	八一、六三六	一、五七三、五七六	四四八、〇九四	一四、八五一、四七三	二、六三四、七三〇
同四十一年	一	一	一一、二〇一、八七四	一、七三六、七三四	一八二、八七二	一六、五〇三	二四、九五四	九、六〇七	一、六九五、八二六	二〇八、〇九六	一二、一〇五、五二六	一、九七〇、九四〇
同四十二年	一	一	一二、六三三、三〇六	二、〇二五、二三五	一二六、七一二	一一、一二三	一七五、九〇八	三〇、七四四	一、六一五、〇五八	四六九、三六六	一四、四五〇、九八四	二、五三六、四六八

年次	硫化鐵鑛 數量	硫化鐵鑛 價額	格魯謨鐵鑛 數量	格魯謨鐵鑛 價額	滿俺鑛 數量	滿俺鑛 價額	重石鑛 數量	重石鑛 價額	水鉛鑛 數量	水鉛鑛 價額	砒 數量	砒 價額
明治三十三年	四、三一〇、六三一	二五、八六六	一	一	二六、三四、五二六	一六三、〇三〇	一	一	一	一	七、七八二	五八八
同三十四年	四、六九〇、二七〇	二七、七八二	一	一	二七、一一五、八八四	一〇八、四六四	一	一	一	一	一七、一七七	一、六三三
同三十五年	四、九五四、七三三	二八、二四二	一	一	一八、一一〇、七九二	六七、〇一〇	一	一	一	一	二〇、三一二	一、六八六
同三十六年	四、二九八、九三二	二五、七六四	一	一	九、四三四、四八二	三七、三七八	一	一	一	一	一〇、四三一	八五五
同三十七年	六、六三六、一三八	五三、〇八九	一	一	九、四七一、〇九二	三七、八八四	一	一	一	一	五、九〇〇	四六〇
同三十八年	六、八一八、四三二	七五、〇〇三	一	一	二三、三六一、六三七	八一、七六六	一	一	一	一	一三、七五五	一、〇一三
同三十九年	九、九五一、三〇二	九三、九九五	一	一	二一、四〇二、三〇二	八二、八二七	一	一	一	一	一〇、三一二	七二二
同四十年	一四、九七七、六二三	二〇二、九四七	一	一	三四、三〇九、八〇九	一四四、一〇一	一	一	二	一	一二、四八五	八七四
同四十一年	九、〇三一、一五三	一七一、四四九	六、七七四、四〇	一二、六二四	一八、五五〇、五七四	八二、五九四	三一〇	四九〇	二〇、五二七	一、一九六	三三、〇六三	二、五二八
同四十二年	五、七三五、六八三	一〇六、八四〇	五三一、一〇九	二七、一五〇	一四、七四五、五〇二	五一、一一九	五、七〇五	一三、一九〇	二、三二一	一一六	一三、四三五	九五四

年次	燐鑛 數量	燐鑛 價額	黑鉛 數量	黑鉛 價額	石炭 石炭 數量	石炭 石炭 價額	石炭 無煙炭 數量	石炭 無煙炭 價額	石炭 煽石 數量	石炭 煽石 價額	石炭 計 數量	石炭 計 價額
明治三十三年	一貫	一圓	一五七、一二四斤	二三、八五五圓	七、三五九、三二一	二四、二〇二、五三〇圓	七二、二七一	二三三、七三二圓	五七、三〇一	一四六、七七六圓	七、四八八、八九三	二四、五八三、〇三八圓

年次	亞炭 數量	亞炭 價額	石油 數量	石油 價額	土瀝青 數量	土瀝青 價額	硫黃 數量	硫黃 價額	價額計
明治三十三年	一圓	一圓	七六七、五〇八斤	一、九四一、五六三圓	一貫	一圓	二四、〇六四、一九六斤	三一二、八三五圓	四九、二六七、四七五圓
同三十四年	九、八一八	一六、三四六	九八三、七九九	二、二七八、四一八	一	一	二七、五八〇、四七八	三八六、一二七	五六、七〇五、〇六五
同三十五年	四一、〇三四	六四、一四六	八七七、八三七	二、〇七七、八四〇	一	一	三〇、四七八、七一八	四四一、九四二	五六、一二九、五四七
同三十六年	四九、八六二	六六、四六一	一、〇六五、一一六	二、八一九、四六二	九五、〇〇〇	九五〇	三八、一二三、一七五	五七一、八四八	五七、四七五、八一一
同三十七年	四八、二六八	六八、〇五九	一、〇七三、六四〇	二、七七六、四三三	一四五、〇〇〇	一、四五〇	四二、六四五、〇六三	五七一、四四四	五八、四六一、三四九
同三十八年	五〇、八九五	八〇、一〇九	一、一八七、一三六	二、九四二、九一〇	二七、四七五	一、九一三	四一、〇八七、五六八	五七五、二二六	七八、一〇九、七九七
同三十九年	七一、三七四	一一二、七〇〇	一、三七三、三九七	三、一四五、五〇二	一〇三、〇六二	七、一六三	四七、二二〇、四二一	六一三、八六五	一〇六、九七二、四七二
同四十年	七〇、八七三	一〇九、九二四	一、五一三、九九四	五、二一八、七三七	一五五、八〇〇	一〇、九〇六	五五、五五八、六一六	七八八、七九〇	一一〇、五五二、三五〇
同四十一年	八二、九五七	一四四、八九七	一、六四一、五六三	六、五二〇、八七一	六四一、一一〇	五一、一八九	五五、六九八、一〇〇	七四八、〇九八	一〇五、三九三、六六三
同四十二年	九九、一六二	一七七、三一八	一、六五七、〇三六	六、四二八、五一四	一、一一六、一六三	九〇、六八八	六一、四九九、二二五	八一二、六七三	一〇三、二〇〇、二〇八

(備考) 明治三十九年、同四十年、同四十一年ノ金銀鑛ニ於テ大阪府ノ分ニ重複ノ廉アリタルヲ以テ累年ヲ訂正セリ

(未完)

○通運

○航海奬勵認許證書下付 通信省ニ於テ航海奬勵法ニ依リ日本郵船株式會社所有船博多丸ニ對シ昨十二日ヨリ明治四十四年九月二十三日マデ有效ノ認許證書ヲ下付セリ該船ハ同三十年六月十四日帝國船籍ニ登錄セラレタル鋼製汽船(總噸數六千百六十一噸〇五、最強速力十四海里五五)ニシテ同二十九年十二月二十一日進水セシモノナリ(通信省)

○衛生

○傳染病患者及死亡者數 去月十一日ヨリ同十五日ニ至ル赤痢、腸窒扶私、痘瘡患者及死亡者數左ノ如シ 告示印ハ報(內務省)

道府縣	赤痢 患者	赤痢 死者	赤痢 本年初發以來 患者	赤痢 本年初發以來 死者	腸窒扶私 患者	腸窒扶私 死者	腸窒扶私 本年初發以來 患者	腸窒扶私 本年初發以來 死者	痘瘡 患者	痘瘡 死者	痘瘡 本年初發以來 患者	痘瘡 本年初發以來 死者
北海道	四	一	一九	二	一九	一	一七九	二〇	一	一	二〇	六
東京	六	一	三一	六	三四	六	四一	七七	一	一	一八	二
東京	二三	二	三七五	七二	一一九	一九	五七一	七四一	一	一	一	一
東京	五	一	一四五	三一	三四	一二	九六二	二〇四	一	一	一	一
京都	一八	一	一一四	一四	一四	一	三五七	七九	一	一	一	一
京都	一二	一	四二	一〇	一	一	四一	二四	一	一	一	一
大阪	一三	六	一五五	三二	一二	九	二五三	八二	一	一	一	一
大阪	九	三	一三五	二九	三	二	一二九	四六	一	一	一	一
神奈川	五	一	六五	七	一二	六	一九一	四三	一	一	一	一
神奈川	八	二	一九七	四二	三三	四	四七八	八九	一	一	一	一
兵庫	一六	四	一四一	三三	四	一	一二八	二九	一	一	二	一
兵庫	六四	九	七八五	一五七	二五	三	三〇五	五一	一	一	一	一
長崎	五	一	五一	二三	一	一	五〇	一二	一	一	一	一
長崎	六四	一三	八三一	一六三	一三	三	二四六	一四三	一	一	一	一
新潟	一	一	五	一	一	一	四六	一〇	一	一	一	一
新潟	六四	四	一九〇	二〇	四二	七	五〇五	九三	一	一	一	一
埼玉	五	二	二二九	四六	七三	六	七七九	一六八	一	一	一	一
群馬	三	二	七九	五	七	二	一〇四	二〇	一	一	一	一
群馬	一四	二	一九〇	二三	二一	五	三五六	六二	一	一	一	一
千葉	一	一	一三三	一八	一一	四	三八四	九〇	一	一	一	一
茨城	一	一	八	一	一	一	二三	八	一	一	一	一
茨城	一	一	六五	一〇	二八	一	三七三	五二	一	一	一	一
栃木	一	一	六	一	二	一	六七	一三	一	一	一	一
栃木	七	四	二七七	五七	三八	六	四九七	九六	一	一	一	一
奈良	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一
奈良	五	一	九〇	二一	二	一	二五	七	一	一	一一	一
三重	三	一	三五	二	一	一	四八	六	一	一	一	一
三重	一三	二	三一九	四七	八	二	一一三	二四	一	一	一	一
愛知	三	一	一二九	一〇	五	二	一八三	三八	一	一	一	一
愛知	一八	六	七一八	一四九	一六	三	四一〇	一〇八	一	一	一	一
靜岡	四	二	七七	一三	四	一	一〇〇	一二	一	一	一	一
靜岡	一三	二	四六	七九	二〇	一	三八九	六二	一	一	一	一
山梨	二	一	四四	三	四	一	九一	一八	一	一	一	一
山梨	四	三	二六五	四七	四三	六	二八六	四四	一	一	一	一
滋賀	一	一	一	一	一	一	一六	二	一	一	一	一
滋賀	一	一	四二	一〇	一	一	七〇	一六	一	一	一	一
岐阜	三	一	四七	四	一	一	一六	三	一	一	一	一
岐阜	一二	二	四五二	九九	九	二	二二六	四九	一	一	一	一

第8195号 本文

第8195号　本文

第8195号　本文

區	測候所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風向	風速	雨量 廿四時間	天氣
一〇	十勝	七五六・二	＋一・一	〇・九	一九・一	〇・〇	－	一	－	曇
	宗谷	七五五・九	＋〇・八	一一・一	一四・四	一〇・二	北東	八	－	快晴
	網走	七五五・三	＋〇・四	五・四	一五・四	八・〇	西	二	－	快晴
	釧路	七五四・七	＋〇・五	一〇・〇	一六・三	六・一	北	二	－	快晴
	根室	七五四・一	＋〇・二	一〇・六	一三・五	九・五	北北東	一二	－	晴
	紗那	七五三・〇	＋一・四	八・五	一一・八	七・八	北北西	一七	一	曇
	大泊	七五六・三	＋一・三	五・〇	一五・七	二・四	北北西	二	－	快晴
	眞岡	七五六・二	＋〇・九	一・九	一三・三	一二・二	南東	八	－	快晴
	敷香	七五六・〇	＋〇・六	〇・五	一四・八	二・六	北西	二	－	快晴
	釜山	七六一・六	＋〇・一	一六・八	二三・一	一七・九	北	六	－	快晴
	木浦	七六二・〇	〇・〇	一五・八	二三・九	一五・九	－	一	－	快晴
	仁川	七六三・八	＋〇・六	一三・〇	二三・五	一四・五	北東	三	－	快晴
	平壤	七六四・三	＋〇・五	一〇・一	二五・〇	一三・〇	南	二	－	快晴
	元山	七六四・九	＋〇・一	九・八	二三・五	一一・七	－	一	－	快晴
	城津	七六四・八	＋〇・四	九・三	二三・四	一〇・三	北北西	四	－	快晴
	龍岩浦	七六三・八	〇・〇	一三・二	二三・九	一〇・一	北	五	－	晴
	大連	七六三・五	－〇・七	一四・〇	二四・五	一三・六	西北西	二	－	快晴
	旅順	七六三・七	－〇・四	一五・八	二三・八	一六・二	西	四	－	快晴
	營口	七六三・三	－〇・三	一二・〇	二三・八	一〇・〇	南東	三	－	曇
	奉天	七六三・三	＋〇・二	九・七	二六・二	九・二	東南東	二	－	曇
	長春	七六三・二	－〇・一	七・〇	二三・五	六・五	南西	二	－	晴
前日	天津	七六六・二	－	一三	－	－	南西	一※	－	快晴
	芝罘	七六四・八	－	一六	－	－	西	二※	－	快晴
	靑島	七六五・三	－	一四	－	－	北西	二※	－	快晴
	上海	七六三・二	－	二一	－	－	北北東	二※	－	曇
	廈門	七五五・九	－	二三	－	－	北東	一※	－	雨
	杭州	七六四・二	－	一六	－	－	北	一※	－	晴
	南京	七六五・七	－	一五	－	－	－	〇	－	快晴
	漢口	七六六・〇	－	一六	－	－	北東	三※	－	快晴
	沙市	七六五・二	－	一七	－	－	北	一※	－	曇

○天氣概況 昨日本州、四國、九州等ニ雨ヲ催シタル颶風ハ昨夜八丈島ト小笠原列島ノ間ヲ東ニ通過シタリ而シテ琉球ニ在リシ低氣壓ハ北東ニ進ミ目下四國沖ニ至リ又宮古島ノ南方海上ニハ新低氣壓出顯セリ高氣壓ハバイカル湖附近ニ在リテ其一端ハ樺太島マテモ擴張セリ九州ニテハ天候回復シ北海道ニテハ引續キ快晴ナリ而シテ本州南東部ニテモ昨夜一時快晴ト爲レリト雖モ再ヒ曇天ト爲リ今朝ハ瀬戸內海ノ西部ヨリ奥羽ニ至ルマテハ概ネ曇天ニシテ本州中部ニテハ降雨スル處アリ朝鮮ニテハ快晴ナレトモ滿洲ニテハ一時曇天ト爲レリ

○低氣壓概報

神戸、大阪、四日市暴風雨標取扱所ヘ左ノ電報ヲ發ス

一日午後二時 颶風ノ中心ハ八丈島ノ南方ニ在リ其示度七百四十八粍ニシテ北東ニ向ヒ進行ス其速度毎時二十粁

二日午前八時 暴風雨標ヲオロセ

十月三日

區	測候所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風向	風速	雨量 廿四時間	天氣
一	恒春	七五六・四	－一・三	二五・一	二八・四	二三・四	北東	一五	－	晴
	臺東	七五七・四	－二・一	二一・三	二八・二	二一・五	北西	三	－	快晴
	臺南	七五七・〇	－一・一	二二・一	三〇・二	二一・八	－	一	－	曇
	澎湖島	七五六・九	－一・五	二三・八	二六・五	二三・四	北東	一七	－	晴
	臺中	七五七・三	－一・〇	二〇・七	二八・八	二〇・七	北	二	－	快晴
	臺北	七五九・二	－一・六	二〇・八	二六・八	二〇・三	南	三	一	曇
	石垣島	七五七・八	－〇・八	二三・八	二七・六	二三・四	北	四	－	晴
	那覇	七五六・九	－一・〇	二五・二	二七・四	二四・六	北	一一	－	曇
	名瀬	七五七・七	－〇・四	二三・四	二七・一	二三・四	北西	二	八	雨
二	佐多岬	七五八・六	－〇・二	二一・〇	二六・八	二一・八	北	二	－	晴
	都井岬	七五七・七	－〇・一	一九・四	二三・三	一九・二	北東	四	－	曇
	鹿兒島	七五九・〇	－〇・二	二〇・二	二五・五	二〇・一	北北東	四	－	快晴
	宮崎	七五九・七	＋〇・六	一七・六	二四・〇	一七・五	北西	二	－	曇
	熊本	七五九・九	＋〇・二	一六・八	二六・六	一七・七	北	三	－	晴
	足摺	七五九・六	－〇・一	一九・三	二三・一	一九・七	北東	九	六四	雨
	高知	七六〇・二	－〇・一	一七・六	二七・九	一七・九	南西	三	二	曇
	德島	七六一・一	〇・〇	一七・九	二三・九	一六・五	－	一	三	雨
	和歌山	七六〇・八	＋〇・一	一六・六	二三・二	一六・二	東北東	三	四	雨
	日御碕	七六一・五	＋〇・九	一七・三	二一・二	一六・一	北東	七	二	雨
	潮岬	七六〇・六	〇・〇	一九・二	二一・〇	一七・四	北東	六	三	雨
三	大分	七六〇・五	＋〇・一	一六・六	二三・〇	一七・〇	北東	二	－	曇
	松山	七六〇・二	－〇・二	一六・八	二五・一	一六・二	東	二	一	曇
	多度津	七六〇・七	－〇・四	一七・九	二五・二	一七・〇	－	〇	一	雨
	廣島	七六一・二	－〇・二	一六・四	二五・八	一七・〇	北北東	三	－	曇
	呉	七六一・一	－〇・一	一七・六	二五・六	一七・五	－	〇	－	曇
	岡山	七六一・一	－〇・一	一七・〇	二五・五	一四・三	－	一	－	雨
	神戸	七六〇・九	－〇・一	一七・九	二六・六	一五・一	北東	五	－	曇
	大阪	七六一・〇	－〇・一	一七・三	二四・六	一六・二	北東	五	一	雨
	京都	七六一・九	－〇・二	一六・二	二六・〇	一五・六	－	一	三	雨
	八木	七六一・五	＋〇・二	一五・七	二四・二	一五・二	－	〇	二	雨
四	長崎	七六〇・四	－〇・一	一七・四	二四・六	一六・四	北北東	四	－	曇
	佐世保	七六〇・四	－〇・四	一七・八	二四・一	一八・〇	北北東	六	－	晴
	佐賀	七六〇・一	〇・〇	一七・〇	二五・一	一六・八	北東	二	－	晴
	福岡	七六一・五	〇・〇	一四・〇	二四・六	一五・〇	－	〇	－	曇
	嚴原	七六二・一	〇・〇	一六・五	二二・五	一七・九	北東	三	七	曇
	下關	七六一・六	＋〇・三	一七・二	二五・二	一七・五	－	一	－	曇
	濱田	七六一・六	－〇・二	一三・八	二二・四	一三・六	北東	三	－	晴
	境	七六一・五	－〇・三	一五・九	二三・二	一七・四	－	〇	－	曇
	經ケ崎	七六一・四	－〇・一	一七・五	一九・七	一六・九	東	二	－	曇
	舞鶴	七六二・〇	＋〇・一	一五・二	二三・〇	一四・一	－	〇	－	曇
五	津	七六二・四	＋〇・七	一六・二	二一・八	一五・三	西	二	一	雨
	岐阜	七六一・六	＋〇・二	一六・三	二四・四	一四・七	－	〇	五	曇
	名古屋	七六一・七	＋〇・一	一六・七	二四・〇	一四・八	北	二	－	曇
	濱松	七六一・九	＋〇・三	一五・六	二一・〇	一六・二	－	一	－	曇
	長津呂	七六〇・一	－〇・八	一八・九	二〇・〇	一五・七	北東	一八	－	曇
	沼津	七六二・一	－〇・七	一六・四	二二・二	一五・四	東	三	－	曇
	横須賀	七六三・一	－〇・二	一五・八	二〇・一	一四・七	北北西	五	－	曇
	横濱	七六三・五	－〇・一	一五・六	一九・九	一四・八	北	六	－	曇
	東京	七六三・四	〇・〇	一五・〇	一九・四	一三・〇	北北西	四	－	曇
	熊谷	七六四・一	〇・〇	一四・五	一九・一	一二・〇	西北西	二	－	曇
	布良	七六二・七	〇・〇	一五・七	一九・六	一五・二	北	八	－	雨
	銚子	七六二・五	〇・〇	一八・八	二〇・五	一七・七	北北東	六	－	曇
	八丈島	七五九・三	〇・〇	二一・八	二三・四	二〇・二	東北東	一三	一	晴
	父島	七五六・五	〇・〇	二六・八	三〇・一	二六・五	南西	九	一	曇
	筑波山	†六八九・〇	－〇・三	九・五	一四・九	八・五	東北東	一六	－	曇
六	高山	七六三・四	＋一・一	一三・〇	二〇・五	一四・二	－	〇	二	霧
	飯田	七六三・九	＋〇・八	一三・八	二一・七	一三・一	－	〇	九	雨
	松本	七六四・一	＋〇・五	一一・六	二一・五	一二・四	－	〇	－	曇
	長野	七六三・〇	＋〇・三	一三・七	二〇・一	一二・二	－	〇	－	曇
	甲府	七六二・八	－〇・六	一四・三	一九・四	一四・五	東	二	－	曇
	前橋	七六三・六	－〇・四	一三・九	一八・八	一三・〇	北	四	－	曇
	足尾	七六四・五	－〇・三	一〇・五	一四・三	九・〇	－	〇	三	曇
	宇都宮	七六四・一	－〇・一	一五・九	一九・六	一三・二	北北東	三	－	曇
	福島	七六四・六	＋〇・一	一三・七	一七・五	一〇・六	－	一	－	曇
七	彥根	七六一・八	〇・〇	一五・七	二三・四	一四・六	南	二	九	曇
	福井	七六一・六	－〇・二	一四・二	二四・二	一五・二	－	〇	－	曇
	金澤	七六一・四	〇・〇	一四・五	二三・三	一四・五	東	三	－	晴
	皆月	七六〇・七	－〇・四	一六・四	二三・二	一六・八	南東	四	－	晴
	伏木	七六一・五	－〇・一	一四・二	二三・三	一五・八	南西	三	三	曇
	新潟	七六二・〇	＋〇・一	一四・八	一九・二	一三・三	東南東	七	二	曇
	山形	七六三・三	＋〇・四	一〇・三	一八・九	九・〇	南東	二	－	曇
	加茂	七六二・四	－〇・五	一三・六	一八・二	一三・二	東南東	一三	－	快晴
	秋田	七六三・五	－〇・二	一一・七	二〇・六	七・八	東南東	四	－	曇
八	水戸	七六三・四	〇・〇	一三・八	二一・九	一三・八	北	二	－	晴
	金山	七六四・八	－〇・一	一三・五	一七・五	一一・六	－	〇	四	雨
	金華山	七六四・六	＋〇・一	一六・一	一八・三	一五・一	東	八	－	曇
	石卷	七六四・六	－〇・一	一三・四	一八・三	九・六	東北東	三	－	曇
	水澤	七六五・三	－〇・二	一〇・五	一九・〇	七・六	北	二	－	曇
	宮古	七六五・七	－〇・三	八・七	一五・二	一〇・八	西	三	－	曇
九	龍飛	七六四・三	－〇・五	一二・二	一八・五	一三・一	東南東	七	－	快晴
	青森	七六四・七	－〇・六	四・九	一九・六	八・二	－	一	－	快晴
	函館	七六五・四	－〇・四	一〇・九	一九・四	七・二	東北東	三	－	晴
	壽都	七六五・〇	－〇・五	一一・四	一七・二	六・五	南	四	－	曇
	札幌	七六六・二	＋〇・四	七・三	一八・八	二・五	南南東	三	－	晴
	上川	七六八・二	＋〇・八	二・九	一七・九	二・二	－	〇	－	霧
一〇	十勝	七六八・三	＋〇・七	九・五	一八・二	九・九	－	〇	－	雨
	宗谷	七六五・八	－〇・五	七・八	一五・一	八・三	南東	二	－	快晴
	網走	七六六・六	－〇・四	四・八	一三・八	四・八	－	〇	－	快晴
	釧路	七六七・三	＋一・八	三・二	一四・四	〇・八	北	二	－	曇
	根室	七六七・三	＋〇・四	四・八	一三・七	二・二	北北西	三	－	曇
	紗那	七六七・〇	＋〇・八	四・〇	一一・〇	五・八	南東	六	－	快晴
	大泊	七六五・九	－〇・四	三・〇	一三・六	〇・六	東北東	二	－	快晴
	眞岡	七六五・三	－〇・八	五・四	一四・一	一・四	南東	七	－	快晴
	敷香	七六三・五	－〇・九	〇・七	一一・七	六・九	北西	二	－	霧
	釜山	七六二・六	＋〇・一	一四・五	二三・九	一五・八	－	一	－	快晴
	木浦	七六三・八	＋一・一	一五・七	二四・三	一五・三	北西	二	－	晴
	仁川	七六三・一	〇・〇	一三・六	二三・九	一一・九	東	五	－	快晴
	平壤	七六三・九	〇・〇	一一・七	二三・九	九・二	－	〇	－	快晴
	元山	七六四・六	－〇・二	一三・二	二〇・五	九・八	南西	三	八	雷雨
	城津	七六三・八	－一・一	一三・八	一九・九	八・九	北北西	五	－	曇
	龍岩浦	七六四・〇	＋〇・五	一〇・七	二三・六	一一・八	東北東	四	七	快晴
	大連	七六四・二	＋〇・八	一三・二	二四・九	一三・六	西南西	三	－	快晴
	旅順	七六四・二	＋〇・五	一六・六	二五・九	一四・六	北北西	二	－	快晴
	營口	七六四・一	＋〇・五	一二・三	二三・六	一〇・五	北西	四	－	快晴
	奉天	七六四・〇	＋〇・八	八・一	二三・二	八・八	北	二	－	曇
	長春	七六四・一	＋〇・四	九・六	二二・七	六・五	西	五	八	曇
前日	天津	七六四・四	－	一四	－	－	南西	一※	－	快晴
	芝罘	七六四・二	－	一六	－	－	南西	一※	－	快晴
	靑島	七六四・七	－	一四	－	－	北北西	一※	－	快晴
	上海	七六三・五	－	一五	－	－	北	三※	－	曇
	廈門	七五四・四	－	二〇	－	－	北東	二※	－	曇
	杭州	七六三・二	－	一六	－	－	－	〇	－	快晴
	南京	七六四・九	－	一四	－	－	北西	一※	－	晴
	漢口	七六四・八	－	一七	－	－	東	一※	－	快晴
	沙市	－	－	－	－	－	－	－	－	－

○天氣概況 琉球ト小笠原列島ノ間ノ海上ニハ二低氣壓ノ東北東ニ進行スルモノアリ而シテ高氣壓ハバイカル湖附近ニ在リ七百六十八粍以上ヲ示シ又北海道ニモ高氣壓ノ存スルモノアリ七百六十七粍ヲ示セリ奥羽ヨリ北海道マテハ概シテ晴天ナレトモ九州ヨリ關東マテハ概ネ曇天ニシテ瀬戸內海ノ東部ヨリ本州中部マテハ雨天ノ處多シ滿洲及朝鮮ニテハ天氣回復シ快晴ト爲レリ

○全國天氣豫報

自十月十二日午後六時至十月十三日午後六時 二十四時間ノ天氣豫報 十二日發

第一區 北東ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ風強カルヘシ
第二區 北西ノ風、概ネ晴風強カルヘシ
第三區 第二區ニ同シ
第四區 北西ノ風、概ネ曇
第五區 北西ノ風、概ネ曇少雨後晴
第六區 第五區ニ同シ
第七區 北ノ風、概ネ曇少雨後晴
第八區 第七區ニ同シ
第九區 北ノ風、概ネ晴
第十區 第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報 北ノ風、雨後霽レル

○東京氣象

十月十一日

氣壓（海面ノ度）	平均	七六六・一粍
氣溫	平均	一五・四度（平年ヨリ一・一度低シ）
	最高	一六・二度
	最低	一四・六度
濕度	平均	九五・一%
水蒸氣張力	平均	一二・四粍
雲量	平均	一〇・〇
日照時間		〇・〇時
風	平均速度	五・三米
	最大速度	八・一米
	最多方向	北西
降水	總量	四七・六粍
	一時間最大量	六・二粍
蒸發	總量	〇・〇粍
記事		前夜來ノ降雨連續シテ翌日ニ亙ル

（以上中央氣象臺）

○廣告

○參拜時限

本月十七日神嘗祭ニ付キ非役從二位以下、同勳二等以下ノ者ハ正午十二時ヨリ午後一時マテニ參拜スヘシ

但シ有位者及有位有勳者ハ位階相當ノ大禮服無位有勳者ハ通常禮服(略綬)勳章本綬佩用ノコト

明治四十三年十月 式部職

○醫籍登錄

醫師法第四條ニ依リ醫籍ニ登錄シタル者左ノ如シ

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
東京帝國大學醫科大學醫學科卒業者				
四三、一〇、七	二六九七三	群馬縣士族	森川千丈	東京府、東京市本郷區役所
仙臺醫學專門學校醫學科卒業者				
同 六	二六九六八	群馬縣平民	岩崎源吉	東京府、東京市下谷區役所
岡山醫學專門學校醫學科卒業者				
同 三	二六九六一	鹿兒島縣士族	税所貞彦	鹿兒島縣、伊佐郡役所、山野村役場
金澤醫學專門學校醫學科卒業者				
同 六	二六九七二	奈良縣平民	久保勝次	奈良縣、宇陀郡役所、松山町役場
京都府立醫學專門學校醫學科卒業者				
同 三	二六九六二	和歌山縣平民	野田次郎	和歌山縣、西牟婁郡役所
同 六	二六九六九	山口縣平民	重富信多	山口縣、厚狹郡役所、小野村役場
同 七	二六九七四	高知縣平民	弘瀨原亮	高知縣、高知市役所
同	二六九七五	長野縣士族	倉田省三	長野縣、埴科郡役所、松代町役場
愛知縣立醫學專門學校醫學科卒業者				
同 五	二六九六五	愛知縣士族	富澤鐙	愛知縣、名古屋市東區役所
同	二六九六六	岐阜縣平民	伊藤利重	岐阜縣、惠那郡役所、吉田村役場
私立東京慈惠會醫院醫學專門學校醫學科卒業者				
同 三	二六九六〇	新潟縣平民	加藤竹治	東京府、東京市芝區役所
同	二六九六四	宮城縣平民	石田強藏	東京府、東京市芝區役所
同 六	二六九七〇	群馬縣平民	森田勝太郎	東京府、東京市本郷區役所
同	二六九七一	靜岡縣平民	忠內義一	東京府、東京市麻布區役所
同 七	二六九七六	福岡縣平民	陶山賢英	福岡縣、筑紫郡役所、水城村役場
同	二六九七七	長野縣平民	原束穂	東京府、東京市芝區役所
醫師試驗合格者				
同 三	二六九六三	熊本縣平民	池田正之	熊本縣、玉名郡役所、平井村役場
同 五	二六九六七	長崎縣平民	林田平一	長崎縣、長崎市役所

明治四十三年十月 內務省

齒科醫師法第四條ニ依リ齒科醫籍ニ登錄シタル者左ノ如シ

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
齒科醫師試驗合格者				
四三、一〇、三	一一九五	東京府平民	市川三郎	東京府、東京市牛込區役所
同 六	一一九六	東京府平民	愛知勝郎	東京府、東京市麴町區役所

明治四十三年十月 內務省

○藥劑師名簿登錄

藥品營業竝藥品取扱規則第五條ニ依リ藥劑師名簿ニ登錄シタル者左ノ如シ

登錄年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
藥劑師試驗合格者				
四三、一〇、六	三九三三	奈良縣平民	槻潔	奈良縣、吉野郡役所、國樔村役場
同 八	三九二三	東京府士族	櫻井千尋	警視廳、本郷警察署駒込分署
同	三九二五	東京府平民	秋山孝太郎	警視廳、日本橋警察署堀留分署
同	三九二六	東京府平民	國司松治	警視廳、芝警察署

藥品營業竝藥品取扱規則第四十六條第二項該當者

登錄年月日	登錄番號	國籍	氏名	申請書經由官公署
四三、一〇、四	三〇	獨逸國	カール、トーン	神奈川縣廳

○證狀再下付

醫師法施行規則第四條ニ依リ醫師免許證ノ再下付ヲ爲シタル者左ノ如シ但シ從前ノ免許證ハ無效トス

再下付年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、一〇、五	一六五九九	東京府士族	吉川勝次郎	東京府、豐多摩郡大久保村役場

藥劑師免狀ノ再下付ヲ爲シタル者左ノ如シ但シ從前ノ免狀ハ無效トス

再下付年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、一〇、六	三九二四	兵庫縣平民	高月孝太郎	兵庫縣、加古郡役所、加古川町役場

明治四十三年十月 內務省

○證狀書換下付

醫師免許證ヲ書換ヘ下付シタル者左ノ如シ

書換下付年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、一〇、四	一七五三九	鳥取縣平民	三宅亨	鳥取縣、西伯郡役所、外江村役場
同 五	六六八七	北海道平民	西川滋隆	北海道廳、後志支廳、眞狩村役場
同	一三六五二	大阪府平民	溝部勝博	大阪府、大阪市南區役所
同	二三六六九	愛知縣士族	中野太一郎	愛知縣、幡豆郡役所、西尾町役場
同	二五九八六	福岡縣平民	坂口親憲	福岡縣、嘉穗郡役所、碓井村役場
同 七	二二四七〇	東京府平民	矢守治作	東京府、東京市麴町區役所

齒科醫師免許證ヲ書換ヘ下付シタル者左ノ如シ

書換下付年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、一〇、四	四一	香川縣平民	宿南郁三	香川縣、高松市役所

藥劑師免狀ヲ書換ヘ下付シタル者左ノ如シ

書換下付年月日	登錄番號	族籍	氏名	申請書經由官公署
四三、一〇、七	一五五六	香川縣平民	浮田安太郎	香川縣、高松市役所

明治四十三年十月 內務省

○賞賜物件拜受者居所不明

左記ノ者居所不明ノタメ韓國暴徒鎭壓事件賞賜物件ヲ交付シ能ハサルニ付キ本人若クハ心當ノ者ハ至急當部ニ申出ツヘシ

明治四十三年十月 朝鮮駐箚軍司令部

元步兵第二十七聯隊第十一中隊 北海道龜田郡戶井村字小安村園田來四 陸軍步兵一等卒 舘山賞佐久

賜金十圓

○教員檢定豫備試驗合格者

本年八月三十一日及九月一日、二日、三日、九日、十日施行ノ師範學校、中學校、高等女學校修身、數學、家事科教員檢定豫備試驗ニ合格セシ者ノ族籍、氏名等左ノ如シ但シ氏名ノ上ニ※印アルハ師範學校女子部高等女學校ノミノ教員志願者ナリ

明治四十三年十月 教員檢定委員會會長 理學博士山川健次郎

第 8195 号 本文

族籍	氏名	願書進達地方廳
修身科		
山口縣平民	田村　一郎	東京府
東京府平民	湯本　倉之助	同
鳥取縣士族	進　木島一	同
滋賀縣平民	柴田　甚五郎	同
栃木縣平民	※大久保　祐之助	栃木縣
靜岡縣平民	富部　佐平	靜岡縣
山梨縣平民	高橋　保高	山梨縣
長野縣平民	中島　仲重	長野縣
長野縣平民	松島　亙	同
青森縣士族	山上　金司	山形縣
山形縣平民	森谷　與三郎	同
秋田縣士族	伊藤　亙三	秋田縣
秋田縣平民	千葉　命吉	同
京都府平民	中島　寅次郎	京都府
富山縣平民	梨谷　靜芳	同
兵庫縣平民	尾古　四郎	大阪府
福井縣平民	※倉谷　麻治郎	同
愛知縣平民	鈴木　勘市	愛知縣
富山縣平民	米林　健造	富山縣
德島縣平民	大西　昇一	德島縣
高知縣平民	※田內　鹿彌	高知縣
大分縣平民	玉井　三郎	大分縣
大分縣平民	※廣瀨　正雄	同
家事科		
鹿兒島縣士族	市來　はな	東京府
宮崎縣士族	原　喜代	同
廣島縣平民	吉村　キヨ	同
群馬縣士族	高山　やゑ	同
千葉縣平民	武井　てい	同
群馬縣平民	田村　志やう	同
山形縣平民	高橋　とき	同
新潟縣平民	中山　清	同
神奈川縣平民	古郡　重保	同
東京府平民	小日向　志ま	同
福島縣平民	赤松　ヨシエ	同
長野縣平民	森木　聖あへ	同
東京府平民	伊藤　勢よ	同
神奈川縣平民	竹內　ます	神奈川縣
靜岡縣士族	島羽山　とき	靜岡縣
靜岡縣平民	中島　とし	同
福島縣平民	芦澤　久德	福島縣
大阪府平民	東門　千代	大阪府
兵庫縣平民	安田　たき	同
滋賀縣平民	伊藤　すゑ	滋賀縣
島根縣平民	長廻　ウメノ	島根縣
山口縣平民	杉山　繁太郎	山口縣
香川縣士族	三木　シナ	香川縣
愛媛縣士族	後藤　夏子	愛媛縣
福岡縣士族	高野　ハル	佐賀縣
數學（算術、代數、幾何）科		
東京府士族	岩崎　篤太郎	東京府
長崎縣平民	本多　吉雄	同
香川縣平民	川田　多三郎	同
兵庫縣士族	高木　美郎	同
新潟縣平民	田中　虎之助	同
福岡縣士族	宗　昌雄	同
京都府士族	馬杉　榮	同
香川縣平民	久保　嘉作	同
長野縣士族	安田　澗三郎	同
岡山縣士族	小林　長男	同
愛知縣平民	小泉　安吾	同
兵庫縣平民	尼寺　源之助	同
栃木縣平民	酒井　繁	同
千葉縣平民	鈴木　宇宙	同
新潟縣平民	※佐久間　富次	新潟縣
山梨縣平民	小澤　啓太郎	埼玉縣
千葉縣平民	長島　竹治	千葉縣
福岡縣平民	福永　榮次	茨城縣
群馬縣平民	※福島　氏平	群馬縣
奈良縣平民	坊垣內　萬吉	栃木縣
栃木縣平民	金田　喜吾	同
栃木縣平民	福田　定吉	同
宮城縣平民	阿部　要藏	同
靜岡縣士族	森川　佐市郎	靜岡縣
山梨縣平民	作道　乙雄	山梨縣
長野縣士族	橫山　善四郎	長野縣
長野縣士族	※柳澤　信一	同
青森縣平民	田向　初三郎	青森縣
山形縣平民	高柳　太助	山形縣
京都府平民	梅原　儀太郎	京都府
兵庫縣士族	永田　赳二	大阪府
鹿兒島縣士族	松元　彥志	同
山梨縣平民	清水　政則	同
岐阜縣平民	谷　慾實	兵庫縣
三重縣平民	岡島　善之助	三重縣
三重縣平民	※草深　德八	同
高知縣平民	山崎　猛二	同
東京府平民	唐澤　元三郎	愛知縣
愛知縣平民	中村　佳一	同
愛知縣平民	中村　信三	同
愛知縣平民	水野　淏	岐阜縣
福井縣士族	田邊　正吉	福井縣
富山縣平民	開　宗次郎	石川縣
和歌山縣平民	津村　文次郎	和歌山縣
香川縣士族	矢代　爲一	鳥取縣
島根縣士族	長谷川　亮一	島根縣
岡山縣平民	湯淺　勝造	岡山縣
福島縣士族	梅田　政治郎	廣島縣
山口縣士族	生田　勻	山口縣
德島縣士族	遠藤　清二郎	德島縣
山形縣士族	相馬　艮馬	同
鹿兒島縣士族	上野　彌八郎	香川縣
香川縣平民	白井　誠敬	同
香川縣平民	森田　寬太	同
福岡縣士族	中島　頭十	福岡縣
大分縣士族	村上　保二	大分縣
熊本縣平民	木庭　德治	熊本縣

○醫術開業前期試驗及第者

東京ニ於テ施行シタル本年第二回醫術開業前期試驗及第者左ノ如シ及第者ハ本月二十日午前十一時實印携帶文部省ニ出頭スヘシ

明治四十三年十月　醫術開業試驗委員長　足立寬

族籍	氏名
福島縣平民	湯田　安世
山口縣平民	吉原　貞一
宮崎縣士族	飛岡　貞光
富山縣平民	上田　仙松
熊本縣士族	吉見　久
兵庫縣平民	庄野　嘉次郎
栃木縣平民	古家　莊作
廣島縣平民	福田　牛六
東京府平民	倉田　定吉
埼玉縣平民	水越　四郎
山梨縣平民	橫手　彥寧
秋田縣平民	高岡　事太郎
岐阜縣平民	棚橋　捨三郎
千葉縣平民	原　鐵三郎
廣島縣平民	小山　鶴雄
新潟縣平民	五十嵐　宗作
宮城縣平民	伊藤　貞五郎
愛媛縣平民	櫻村　兵次郎
栃木縣士族	梅澤　長太郎
廣島縣平民	柄崎　利雄
山口縣平民	村上　繁松
大分縣平民	中野　亭作
福井縣士族	畑　淸
山口縣平民	新谷　只一
東京府士族	青山　貫
長野縣平民	橫澤　佐和司
岐阜縣平民	中島　左一
福島縣平民	渡邊　富藏
千葉縣平民	加藤　敬三
熊本縣士族	木村　雅八
埼玉縣平民	根岸　慶緇
千葉縣平民	伊藤　東一郎
富山縣平民	小西　章巨
山形縣士族	那須　猪澍
德島縣平民	藤岡　重雄
愛媛縣平民	高橋　誠一
廣島縣平民	植田　政登
高知縣平民	渡邊　龜
奈良縣平民	北　經造
岩手縣平民	山口　重太郎
熊本縣平民	大森　桂治
東京府士族	玉越　秀二
島根縣平民	太田　洋一
群馬縣平民	金子　善右衞門
埼玉縣平民	蓮江　甚五郎
茨城縣平民	深谷　吉郎平
群馬縣平民	星野　照吉
長野縣平民	岡田　新作
茨城縣平民	高島　鶴松
佐賀縣平民	光武　淸作
愛知縣平民	山下　樹一
長野縣平民	大平　知一
高知縣平民	小松　覺治
大分縣平民	河野　正晴
富山縣平民	澤田　岩藏
熊本縣平民	西依　常彥
新潟縣平民	瀨下　正彌
茨城縣平民	羽生　藤四郎
高知縣平民	田村　稻城
福島縣平民	新田　四郎
茨城縣平民	高野　武次
秋田縣平民	月嶋　德之助
福井縣平民	竹內　壽
熊本縣平民	梅本　朝衞
山口縣平民	野村　新一
大分縣平民	伊藤　士
長崎縣士族	白川　直衞
熊本縣平民	細山　三郎
福島縣平民	武田　金三郎
山口縣士族	御手洗　芳祐
廣島縣平民	中村　濟市
福岡縣平民	內丸　義憲
福岡縣平民	三木　惠次郎
三重縣平民	伊東　琢麿
福島縣平民	小林　信之
高知縣平民	山中　豐茂
埼玉縣平民	橋本　逹三
三重縣平民	藤本　茂
島根縣平民	長谷川　常三郎
愛知縣平民	羽田野　宇吉
岩手縣平民	中島　龜次郎
德島縣平民	栗飯原　利平
愛知縣平民	榊原　保
神奈川縣平民	井川　三次郎
長野縣平民	北澤　三代治
愛媛縣平民	村上　雪
岡山縣平民	日下　八郎
長野縣平民	田中　八豐
熊本縣平民	有働　正康
高知縣平民	尾立　茂樹
三重縣平民	鈴木　良次
千葉縣平民	明石　仙藏
神奈川縣平民	岡本　相助
滋賀縣平民	井口　乘海
長野縣士族	山本　克巳
宮崎縣士族	田口　省三
大分縣平民	大津　元藏
神奈川縣平民	平塚　隆俊
岩手縣士族	八角　胖
山梨縣平民	米澤　理藏
長野縣平民	山崎　只次
鳥取縣士族	前田　みね
神奈川縣平民	吉永　マキ
德島縣平民	室住　小冬
愛知縣平民	長谷　たけの
愛知縣平民	下山　まつ
山形縣平民	佐藤　ジュン
長野縣平民	花岡　外志
奈良縣平民	吉村　ロサ
福島縣平民	江川　トミノ
島根縣平民	長岡　於香
亞米利加合衆國民	テフドル、ブリス

○醫術開業試驗及第者

東京ニ於テ本月三日ヨリ八日マテニ施行シタル本年第二回醫術開業後期並ニ齒科實地試驗及第者左ノ如シ

明治四十三年十月　醫術開業試驗委員長　足立寬

後期

族籍	氏名
山口縣士族	堀　フジノ
埼玉縣平民	相島　直枝
熊本縣平民	藤田　若春
鹿兒島縣平民	竹原　富太郎
埼玉縣平民	吉澤　福太郎
東京府平民	小泉　育造
埼玉縣平民	大熊　福次郎
新潟縣平民	寺崎　信次
栃木縣平民	池田　武三
栃木縣平民	神長　三千雄
栃木縣平民	增山　稻麿
廣島縣平民	伊藤　熊市
北海道士族	松林　誠一郎
群馬縣平民	大井田　政次郎
兵庫縣平民	奥平　與二
三重縣平民	田端　龍夫
福井縣平民	白川　門
京都府平民	山口　三郎
神奈川縣平民	高橋　舛藏
福島縣平民	若林　善三
埼玉縣平民	吉田　周作
愛媛縣平民	尾崎　マサノ
長野縣平民	吉川　榮
岡山縣平民	加賀　安造
山口縣平民	安村　辨介
山梨縣平民	三井　家德
岐阜縣平民	山內　米吉
群馬縣平民	山口　幸吉
福島縣平民	丹治　重雄
高知縣士族	民市　中太
東京府平民	前川　雄

齒科

族籍	氏名
大阪府平民	堀野　正人
栃木縣平民	篠崎　章
愛知縣平民	平岡　茂代三郎
埼玉縣平民	正田　朝次郎
長崎縣士族	安永　鹿三郎
東京府平民	野口　惣次郎
大分縣平民	三浦　茂
大分縣士族	原岡　淸次
長野縣平民	笠井　二郎
愛知縣平民	加藤　富吉
岐阜縣平民	服部　德太郎

○船舶職員試驗

大阪遞信管理局海事部高知出張所ニ於テ本月二十四日發動機船三等機關士ニ限リ臨時船舶職員試驗ヲ執行ス

明治四十三年十月　遞信省

○購買入札

一杉電柱　千二十三本　盛岡、青森、大舘間納

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ當局青森出納事務所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ東部鐵道管理局長長谷川謹介擔任ス

明治四十三年十月十三日　東部鐵道管理局

一並質軟鋼板　百枚　神戶納　本月二十八日入札執行

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ當局計理課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上當日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ西部鐵道管理局長岩崎彥松擔任ス

明治四十三年十月十三日　西部鐵道管理局

一號　「セメント」（乙）　二百樽
二號　SWG水綿銅線　二零番十四番十九本撚　二千米突
以上本廠納
三號　瀝靑　二十万瓩
四號　同　二十万瓩
五號　同　二十万瓩
六號　杉板　三千枚
以上王子製藥場構內納
七號　硝酸曹達　六十万瓩
八號　同　二百四十二万九千六百瓩
以上板橋火藥製造所納
九號　杉板割　俗稱幅尺　六千枚
右目黑火藥製造所納

以上入札保證金各自見積代價百分ノ十以上（圓未滿切上ク）ヲ開札當日午前十時マテニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ今十三日ヨリ本月二十六日マテニ營業證明書携帶當廠會計科ニ出頭入札心得書、契約書案、標本品等熟覽ノ上同二十七日午前十一時マテニ當廠ニ入札スヘシ即時開札ス但シ入札保證金及入札書ヲ郵送スルモ妨ナシ其手續ハ同科ニ就キ承知スヘシ

此契約ハ東京砲兵工廠附陸軍三等主計正金子義友擔任ス

明治四十三年十月十三日　東京砲兵工廠

第一號　精米　三百二十三石　麴町區　近衞步兵第一聯隊納
第二號　同　三百八十五石　同　同第二聯隊納
第三號　同　三百十七石　赤坂區　同第三聯隊納
第四號　同　三百三十三石　同　同第四聯隊納
第五號　同　八十七石　麴町區　近衞騎兵聯隊納
第六號　同　百五十六石　津田沼町　騎兵第十三聯隊納
第七號　同　百三十九石　同　同第十四聯隊納
第八號　同　百三十八石　駒澤村　近衞野砲兵聯隊納
第九號　同　百二十石　同　野砲兵第十三聯隊納
第一〇號　同　百七十四石　同　同第十四聯隊納
第一一號　同　百二石　岩淵町　近衞工兵大隊納
第一二號　同　百四十石　目黑村　近衞輜重兵大隊納
第一三號　同　三百三十三石　都賀村　鐵道聯隊及千葉衞戍病院納
第一四號　同　百三十六石　津田沼町　鐵道聯隊第三大隊納
第一五號　同　百八十三石　中野町　電信隊及氣球隊納
以上本年十一、十二月中需用ノ見込

以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ本月二十六日午後四時マテニ當部ニ就キ標本、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上同二十七日午前八時四十分限入札保證金ヲ納入シ同九時マテニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ近衞師團經理部長隈德三擔任ス

明治四十三年十月十三日　近衞師團經理部

一「エレクトリックドリリングマシーン」　一臺
一「電働空氣壓榨機械」　一臺
一「ユニバーサルグラインデングマシーン」　一臺
一「ドリリングマシーン」　一臺
一綿屑　三万瓩
以上開札本月二十七日午前十一時
一石綿　六千瓩
一粗製帆布　五千四百米
一絲屑　一万瓩
一銅管　二百三十七本
右開札十一月四日午前十一時

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上前記日時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ入札書差出スヘシ即時同課ニ於テ開札ス

此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長山田昌壽擔任ス

明治四十三年十月十三日　佐世保海軍工廠會計部

一白絞油　三十石
一木材類　五十九噸
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ契約書案及入札心得書等承合ノ上本月二十八日午前十時限入札スヘシ同時當部ニ於テ開札ス

此契約ハ佐世保海軍經理部長鈴木要三郎擔任ス

明治四十三年十月十三日　佐世保海軍經理部

一　四百磅鐵線　一万五千貫
二　二百磅鋼線七箇撚線　二千貫　｝大阪納

入札保證金每廠各自見積價格百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當所計理係ニ就キ見本、仕樣書、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上本月二十日午前十一時マテニ入札保證金納入午後一時限入札スヘシ即時當所ニ於テ開札ス

此契約ハ遞信省經理局大阪出張所長小宮大次郎擔任ス

明治四十三年十月十三日　遞信省經理局大阪出張所

○入札拂下

一廢革具外九十八點

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右賣却ス買受望ノ者ハ當廠ニ就キ現品、入札心得書及契約書案熟覽ノ上本月二十八日午前十時限入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ小倉陸軍兵器支廠長瀧川順太郎擔任ス

明治四十三年十月十三日　小倉陸軍兵器支廠

一古汽罐　十二箇　但シ現品熟覽ハ本月二十一、二十六兩日午後一時ヨリ一時間トス

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上

右賣却ス買受望ノ者ハ當部計理課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上本月二十七日午前十一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ入札書差出スヘシ即時同課ニ於テ開札ス

此契約ハ佐世保海軍工廠會計部長山田昌壽擔任ス

明治四十三年十月十三日　佐世保海軍工廠會計部

第8195号　本文

○入札拂下公告中訂正

去月二十六日ヨリ本月一日ニ至ル本欄內掲載當署入札拂下公告中去月二十七日分南第五三五號田舍殿村」ヲ「田舍舘村」ニ、同第二〇六號「大相澤大字長澤」ヲ「大字相澤字長澤」ニ、同第二〇七號實測面積「五町八畝」ヲ「五町八段」ニ、同第五六七號「九三番」ヲ「八三番」ニ、七第四三二號ノ二分收權利者小比類「卷綿之助」ヲ「卷綿之助」ニ、同二十八日分七第六二五號ノ「二」ヲ「四」ニ改メ同第五九九號ノ下「ノ內」ノ二字ヲ削リ同第六二五號ノ三小松「四〇〇束」ヲ「四〇〇本」ニ改メ同第六二五號ノ下ニ「ノ一」ノ二字ヲ加ヘ同第一六六五號ノ一同一六六六號字「外久根」ヲ「外久根」ニ、同二十九日分下第一一三九號同一一四〇號字ノ下ニ「火ノ澤」ノ三字ヲ加ヘ同三十日分下第一一二三號ノ一同第一一二四號字奥戸ノ下「字」ノ字ヲ削リ同第一一二四號ノイノ內字「二板橋」ヲ「二枚橋」ニ、同第一二三六號ノ一字佐助川三七番ノ一三ノ下ニ「ノ內」ノ二字ヲ加ヘ本月一日分田第二一七號「松五本」ヲ「檜五本」ニ改メ去月二十八日分七第四九八號ノ二ノ一廉ヲ削リ本月一日分田第二〇一號實測面積ノ行ノ次ニ「田第一七號」「同上字上川三三番ノ六國有原野」「一實測面積三八町一段一畝一五步」ノ三行ヲ加フ

明治四十三年十月十三日

青森大林區署

○林野賣拂

一昨十一日本內掲載宮城大林區署公告ノ續

郡第一九四三號
同上常葉町大字常葉字檜山二一二番國有原野
臺帳面積一町六畝二十步
實測面積一町六段三畝二十四步
松六十二本　材積三棚七三

郡第一九五五號
同上字檜山二三七ノ內、二三八番國有原野
臺帳面積二町三段步ノ內
實測面積二町一段七畝十三步
松七本　材積〇棚八三

郡第一九四一號
同上字檜山二〇四、二〇五番ノ內、國有原野
臺帳面積三町一段九畝十步ノ內
實測面積一町九段二畝四步
雜二十一本　材積〇棚七四

郡第一九六〇號
同上字檜ノ作一三六番ノ內國有原野
臺帳面積一町六段七步ノ內
實測面積一町一段八畝十九步

郡第二〇八八號
同上字檜ノ作一三八ノ內、一三九ノ內、一四〇ノ內國有原野
臺帳面積一町六段五畝六步ノ內
實測面積二町二畝二十五步
雜三百七十本　同二棚二四
杉幼樹三十五本
檜幼樹二十四本

郡第二〇六九四號
同上字朴立目九四番國有原野
臺帳面積五段五畝步
實測面積一町二十四步
松一本　材積〇棚〇六

郡第一八五號
同上字富作二三三番國有林
臺帳面積一町五段步
實測面積一町六段十九步
松四〇本　材積一棚二五
雜二百五十八本　同二棚四四

郡第二一〇六號
同上字式部內二三八、二五七、二六二ノ內國有原野
臺帳面積二町六段三畝二十步
實測面積三町四畝八步

郡第二一一二號
同上字上井坪二〇一番國有原野
臺帳面積五段五畝十四步
實測面積一町七畝三步

郡第一九七八號
同上字櫻ケ入一九三、一九四、二〇三番國有原野
臺帳面積五町一段六畝二十步
實測面積三町二段七畝十八步
松二百十六本　材積九棚四九
雜二百四十九本　同二棚二一

郡第一八九五號
同上字前田一六七、一二〇番國有原野
臺帳面積四町二畝二十步
實測面積一町五段七畝十五步
雜千二百七本　材積十五棚一四

郡第一九九〇號
同上大字新田作字遠東二五一番國有林
臺帳面積一町四段四畝七步
實測面積一町二十四步

郡第一九九一號
同上字遠東三二、二三八、二三九番國有原野
臺帳面積一町一段五畝十八步
實測面積二町三段三畝三步

郡第一九八七號
同上字遠東二四五、二四六、二四七、二四八番國有原野
臺帳面積四町四段九畝二十八步
實測面積三町九段十八步

郡第一九八六號
同上字割石作一一五番國有原野
臺帳面積二町七段十五步
實測面積二町一段四畝六步

郡第二一四五號
同上大字鹿山字廣畑九〇番國有原野
臺帳面積六段六畝二十步
實測面積一町八畝十六步

郡第一八八六號
同上大字久保字百目木一二一番ノ一國有原野
臺帳面積四町六段二畝二十二步ノ內
實測面積二町四段三畝四步

郡第一五二七〇號
同上大越村大字上大越字金山平（二一一ヨリ二一六番マテ）二六八、二六九、二七〇、二七一番國有原野
臺帳面積六町一段一畝八步
實測面積六町五段一畝二十一步
小柴四十束

郡第一五一七五號
同上字大日前（一番ヨリ九番マテ）六四、七〇、七九、八〇番國有原野
臺帳面積四町五段一畝三步
實測面積七町五段七畝二十二步
柴五十束

郡第一五六八五號
同上字元池二九一、二八七番國有原野
臺帳面積八段七畝十四步
見込面積一町一段六畝步

郡第一四九七〇號
同上字水呑澤八二三、一四番國有原野
臺帳面積八段一畝十二步
實測面積一町八畝二十七步
雜六十五本　材積三棚四八

郡第一四九二八號
同上字曲田二六八番二六九、二七〇番國有原野
臺帳面積一町五畝二十六步
見込面積一町五畝步
松四本　材積三尺〆一七
雜二十一本　同〇棚〇五

郡第一五七六一號
同上字勝負坂一〇、一二、一三、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、七四、七五、八三、八四、八五、八六、八七、八九、九〇乙ノ八五番國有原野
臺帳面積一町七段六畝十六步
實測面積三町三段四畝二十九步
松二百四十八本　材積七棚〇七

郡第六五七號
同上字非戸神一二七、一三四、一三五、一三六番國有林
臺帳面積二町六段四畝二十五步
實測面積二町二段七畝二十五步
赤松二十六本　材積二十尺〆六四
樅一本　同四尺〆〇六
欅二本　同三尺〆七三
雜五本　同一棚三四

郡第二四三號
同上小野新町大字雁股田字澤目木八一番ノ內國有原野
臺帳面積十五町步ノ內
實測面積十八町三段二十二步

郡第二三四二號
同上字澤目木七〇番國有原野
臺帳面積八段七畝五步
實測面積二町三段五畝二十九步
雜六十五本　材積一棚〇五

郡第二三〇一號
同上字澤目木六五、七五、七六番國有原野
臺帳面積二町五畝十六步
實測面積三町一段七畝二十步
雜六本　材積〇棚八五

郡第二三〇九號
同上字永風五四、五五、五六、五八、六一、六二番國有原野
臺帳面積六町一段九畝二十一步
實測面積十八町三段九畝二十九步

郡第二三〇八號
同上字永風七四番ノ內國有原野
臺帳面積二十五町步
實測面積二十町九段二畝五步

郡第二三二六號
同上字黑森一六四、一六五、一六九、一七一、一七三、一七五、一七六、一七七國有原野
臺帳面積四町一段五畝十七步
實測面積四町七段一畝二十九步
雜百六十九本　材積十九棚三一

郡第二四四號
同上大字菖蒲谷字西田一二二、一二三國有林
臺帳面積一町二段八畝二十三步
實測面積三町二段二畝六步
雜七十七本　材積十棚八七

郡第一九八五一號
同上移村大字上移字馬込二二五、二二六、二三一、二五〇、三六一番國有原野
臺帳面積一町四段一畝二步
實測面積一町二段四畝十八步
松四本　材積〇棚四九

郡第一七九號
同上大字中山字三斗蒔一〇七番國有林
臺帳面積一町八段二十四步
實測面積一町九段十八步
松二本　材積二尺〆六五
松十四本　同二棚一六

郡第六五五號
同上守山村大字守山字彌明二四七番國有原野
臺帳面積九段三畝十步
見込面積一町一段七畝十八步
小松二十束

郡第一九八〇號
岩瀬郡白方村大字梅田字大久保ロ一九番國有原野
臺帳面積三町七段三畝十二步
實測面積四町七段七畝十二步
赤松百十七本　材積三棚一五

郡第一九七〇號
同上字菖蒲澤一〇番國有原野

第8195号 本文

臺帳面積二町四段三畝十七步
實測面積一町三段四畝十步

郡第一九七二號
同上字長山一番國有原野
臺帳面積二町九段八畝八步
實測面積二町五段六畝二十六步

郡第一九九五號
同上字前山三七番國有原野
臺帳面積一町三段六畝十一步
實測面積一町七段四畝七步
赤松三十三本　材積〇棚九七

郡第二二一一號
同上大字桂田字大森一、四番國有原野
臺帳面積一町三段二十四步
實測面積二町步

郡第一〇一八號
同上牧本村大字牧ノ內字土橋久保一番國有部分林
臺帳面積二町五段六畝二十七步
實測面積九町六段五畝十七步
栂三百四十一本ノ內　材積〇棚六九　但官收
檜二百五十九本ノ內　同〇棚二三　同
栗百十八本　同四棚八三　純官木
松百三十九本　同十二棚〇五　同
附帶義務　本林ハ二官八民ノ分合ヲ以テ明治六十一年七月マテ本村森慶五郎外二十三人ヘ造林許可

郡第一〇一七號
同上字筵ケ平一番國有部分林
臺帳面積一町步
實測面積一町七段五畝五步
栂十六本ノ內　材積〇棚〇五　但官收
檜百十本ノ內　同〇棚〇九　同
栗百三本ノ內　同〇棚一八　同
松八本　同〇棚七四　但純官木
附帶義務　本林ハ二官八民ノ部合ヲ以テ明治六十一年七月マテ本村森慶五郎外二十三人ヘ造林許可中

郡第一〇一三號
同上字向坂山三番國有原野
臺帳面積三町二段三畝十四步
實測面積二町五段一畝十二步
松十一本　材積一棚五三
雜三十九本　〇棚五三

郡第一四三九號
同上大字上松本字寄平久保山六番國有原野
臺帳面積七段三畝二十三步
實測面積一町一段二畝十五步
柴五十六束

郡第一七四號
同上大屋村大字大里字芳ケ澤四番國有原野
臺帳面積二町四段一畝十二步
實測面積二町二段五畝十四步
松九本　材積一棚四八

郡第一七五號
同上字芳ケ澤六番ノロ國有原野
臺帳面積二町十九步
實測面積三町八段一畝步

郡第四二六號
同上大字隈戸字大久保十一番ノロ國有原野
臺帳面積一町六畝三步ノ內
實測面積一町四段一畝二十五步
松六本　材積四十二尺〆二二
雜八本　同六棚〇四

郡第三七八一號
同上稻田村大字松塚字新山八九、八八、八七、九一、七九番國有原野
臺帳面積六町一段八畝二步ノ內
實測面積二町三段九畝二十四步
松百二十本　材積十六棚八六

郡第七九號
同上安積郡丸守村大字長橋字後庵山一二番國有林
臺帳面積二町一段九畝十步ノ內
實測面積三町七段六畝二十步
杉十六本

郡第七七號
同上字入ノ林四〇番國有林
臺帳面積一町二段二十七步ノ內
實測面積一町四段二十步
小柴四百二十束

郡第二〇六六號
同上大字安子島字大澤五三番國有原野
臺帳面積十五町八段一畝十步
實測面積二十一町一段六畝二十四步

郡第四五五九號
同上穗積村大字山口字菅ノ森二番國有原野
臺帳面積二町二畝十二步
實測面積二町六段七畝二十五步
松二十三本　材積〇棚一一

郡第二一八七號
同上字神明入一番國有原野
臺帳面積十町九段三畝二步ノ內
實測面積六町二段二十六步

郡第一一七五號
同上河內村大字夏出字高光山八番國有原野
臺帳面積二町二段五步ノ內
實測面積十二町六段步

郡第二四九號
同上多田野村字西長倉山二番國有原野
臺帳面積三段六畝二十二步ノ內
實測面積一町四段二畝一步

白第一二七八號
西白河郡信夫村大字中新城字櫃平五番ノ內國有原野
臺帳面積四町七段三畝四步ノ內
實測面積二町一段八畝二步
赤松八十五本　材積十棚六一
雜十本　同〇棚一〇

白第一二七〇號
同上字大澤八番國有原野
臺帳面積八町五畝八步ノ內
實測面積一町六段八畝一步
赤松百十三本　材積九棚二三
雜三十四本　同〇棚四四

白第一二九六號
同上字山守山二四番ノ內國有原野
臺帳面積六町五段十九步ノ內
實測面積一町九畝二十步
赤松四十一本　材積一棚三九
雜五十八本　同二棚〇二

白第九〇號
同上社村大字八幡字堂平三番國有林
臺帳面積七町三段四畝二十七步ノ內
實測面積三町八段一畝八步
松五百十八本ノ內　材積百五十九尺〆〇六　同四十棚一〇

白第九一號
同上字櫻平一五番國有林
臺帳面積二町五段八畝二十六步
見込面積二町六段步
松百二十本　材積十棚五六

白第六五〇九號
同上西郷村大字鶴生字瀧ノ澤七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五番國有原野
臺帳面積四町一段三畝二步
實測面積二町八段九畝二十六步
杉六十五本　材積三十一尺〆五三
雜木三千四百七十八本　同四十九棚〇三

白第六五二〇號
同上字向山一七（自二六番至三一番）國有原野
臺帳面積三町五畝八步
實測面積一町五段四畝步
雜七百八十五本　材積八棚一六

（未完）

左記林野土地產物共特賣ス國有林野法第八條各號及同法施行規則第七條各號ニ該當スル拂受希望ノ者ハ實地熟覽ノ上明治三十二年八月農商務省令第二十五號國有林野法施行規則及同三十八年十二月同省令第三十三號不要存置國有林野賣拂規則竝ニ左記各項ヲ遵守シ願書ヲ差出サルヘシ

明治四十三年十月十三日

大阪大林區署

一　願書差出期限ハ來ル十一月五日限
二　願書ハ不要存置國有林野賣拂規則第五條ノ書式ニ依リ調製シ一箇所一通トシ賣拂番號ハ必ス願書ノ冒頭ニ記載シ宛名ハ大阪大林區署長林務技師內藤確介トスルコト
三　願書ノ封皮宛名ノ傍ニ第四十七回特賣願ト朱書シ差出方法ハ郵便其他何等ノ方法ニ依ルモ妨ナシ
四　緣故ノ事由ニ依ル出願ニシテ證據書類アルモノハ其原本ヲ提出シ尙ホ說明書ヲ添付スルコト
五　附帶義務アルモノハ之ヲ繼承スルコト
六　本公告ノ內民有地道路河川等ニ介在スル十町步以內ノ箇所ハ何人ニテモ出願スルコトヲ得但シ其接續地所有者ヨリ出願スルトキハ接續關係ヲ認メ得ヘキ見取圖ニ市町村長ノ證明ヲ受ケ添付スルコト
七　本公告ノ內民有下戾申請若クハ行政訴訟又ハ社寺境內編入出願中ノ箇所アラハ願書差出期間內ニ其旨申告セラルヘシ

大第五五九號
河內國中河內郡惠我村大字一津屋字鐘搗山四一九番國有林
一實測面積八畝十步
松三本　七尺〆一三
同一五本　〇棚七〇
雜七七本　三棚一四

大第五六〇號ノ一
河內國中河內郡惠我村大字大堀字中島四九五番ノ內國有林
一實測面積二段九畝二十七步
椋二六本　七〇尺〆九七
榎一三本　四九尺〆二六
雜一三五本　七棚四二

大第五六〇號ノ二
河內國中河內郡惠我村大字大堀字中島四九五番ノ內國有林
一實測面積三畝三步
椋一本　六尺〆六〇
榎一本　二尺〆六五
松一本　〇棚一三
雜二〇本　一棚五九

大第五六二號ノ一
河內國中河內郡惠我村大字小川字馬場脇一五一番ノ內國有林
一實測面積五畝三步
松四本　七尺〆五一
同五本　一棚一二

大第五六二號ノ二
河內國中河內郡惠我村大字小川字馬場脇一五一番ノ內國有林
一實測面積一段一畝二十二步
松一八本　一九尺〆八九
同四六本　一棚八二
杉一本　〇尺〆二八
雜一〇本　一棚五三

第 8195 号　本文

○相續財産管理人選任

東京地方裁判所

明治四十三年十月六日決定

一　被相續人　故　小林　清

一　相續財産管理人　選任　弁護士　湯澤　三郎

一　公告ヲ爲ス爲メ　一箇月以内ニ相續人ノ名乘ヲ爲スヘキ旨

一　一箇月以内ニ名乘ヲ爲ササルトキハ　相續人ノ廃除ヲ爲スヘキ旨

一　一箇月以内ニ名乘ヲ爲ササルトキハ　限定相續ノ承認ヲ爲シタルモノト看做ス旨

一　相續財産ノ目録ハ　裁判所ニ於テ　閲覧ニ供ス

○準禁治産宣告

下田區裁判所

明治四十三年十月六日決定

一　禁治産者　下田區　平民　山田　一郎

一　保佐人　下田區　平民　鈴木　三郎

○準禁治産宣告

下田區裁判所

明治四十三年十月六日決定

一　禁治産者　下田區　平民　山田　一郎

一　保佐人　下田區　平民　鈴木　三郎

○準禁治産宣告

下田區裁判所

明治四十三年十月六日決定

一　禁治産者　下田區　平民　山田　一郎

一　保佐人　下田區　平民　鈴木　三郎

○準禁治産宣告取消

東京地方裁判所

明治四十三年十月六日決定

一　禁治産者　下田區　平民　山田　一郎

一　保佐人　下田區　平民　鈴木　三郎

○公示催告

水戸區裁判所

明治四十三年十月十日

裁判事　高橋　豊平

○失踪宣告

高崎區裁判所

明治四十三年十月八日

裁判事　高橋　豊平

○行旅死亡人

高知縣

明治四十三年十月十二日

○日本製鋼所物上擔保附社債賣出

第8195号　本文

○廣告

第8195号　本文

官報第八千百九十五號附錄

明治四十三年十月十三日

○廣告

○商業登記

合資會社登記簿第三三冊第一六一七號
一商號　合資會社脇田盛眞堂
一本店　東京市日本橋區横山町二丁目十二番地
一目的　化粧品類ノ製造竝ニ販賣
一設立ノ年月日　明治四十三年十月五日
一代表社員ノ氏名　益芳太郎
一存立ノ時期及解散ノ事由　存立時期　自明治四十三年十月五日至同　五十三年十月五日滿十箇年間
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金三百圓　無限　東京市淺草區八幡町九番地　益芳太郎
商品竝ニ賣掛金及店舗ノ造作此價格　同　同市神田區橋本町一丁目五番地　大内田龜吉
金五千七百圓　有限　同市神田區岩井川岸十九號地　廣田孫八
金三千圓　同　同市淺草區諏訪町十一番地　益岡寅造
金一千圓　同
株式會社横濱銀行登記事項中左ノ如ク追加ス
一解散ノ事由及年月日　株主總會ノ決議ニ因リ明治四十三年九月三十日解散ス
一清算人ノ氏名住所
横濱市本町二丁目二十七番地　平沼專藏
同市野毛町三丁目百三十九番地　赤尾彦作
同市同町同丁目百十七番地　須賀甚藏
同市羽衣町二丁目四十八番地　功刀通之介
東京市神田區神田錦町三丁目十八番地　木村唯良

合資會社登記簿第三三冊第一六一八號
一商號　共益合資會社
一本店　東京市淺草區森田町二番地
一目的　一般財產ノ保管整理及處分
一土地建物ノ管理
一土地建物ノ賣買貸借
一土地建物賣買ノ紹介
一不動產抵當代理貸付金
一有價證券賣買及紹介
一土地建物ノ評價
一信託積立及貸付
一其他附帶ノ事項
一設立ノ年月日　明治四十三年十月四日
一存立ノ時期及解散ノ事由　存立時期　自明治四十三年十月四日至同　六十三年十月四日滿二十箇年間
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金一千圓　無限　東京市京橋區越前堀町一丁目四番地　松下重綱
金一千圓　同　同市淺草區地方今戸町六十七番地　塚本金藏
金一千圓　有限　同市芝區車町八十二番地　杉森菊藏
金一千圓　同　同市下谷區二長町十一番地　寒川英貞
株式會社興信銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役左者ハ明治四十三年十月四日重任ス
東京市京橋區惣十郎町二十一番地　田中伊三郎

合名會社明石商店登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年九月二十八日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス
一本店　東京市京橋區岡崎町二丁目二十五番地
合資會社其壙社登記事項中左ノ如ク變更ス
一明治四十三年九月三十日東京市深川區龜住町三十九番地ノ支店ヲ廢止セリ
右明治四十三年十月五日登記　東京區裁判所

合資會社登記簿第三三冊第一六一九號
一商號　合資會社金鈴堂
一本店　東京市神田區錦町一丁目十二番地
一目的　文房具雜貨ノ製造販賣及依托販賣
一設立ノ年月日　明治四十三年十月五日
一存立ノ時期及解散ノ事由　存立時期　自明治四十三年十月五日至同　九十三年十月四日滿五十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金五百圓　無限　東京市神田區錦町一丁目十二番地　鈴木茂七郎
金五百圓　有限　同所　鈴木鶴多代
金五百圓　同　同所　鈴木善司
金五百圓　同　同所　鈴木茂夫
金五百圓　同　同所　鈴木裔
磐城セメント株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一各株ニ付キ拂込ミタル株金額ヲ金二十一圓ト變更ス
株式會社報德銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役岡田貫之ハ明治四十三年十月一日監査役塚本熊八ハ同年九月二十七日各々辭任セリ
右明治四十三年十月六日登記　東京區裁判所

商號　横濱實業信託合資會社
一本店　横濱市表町一丁目十番地
一目的　一　所定ノ方法ニ依リ各種納稅金竝納入金用辨
二　諸稅ニ關シ屆出等代理
三　一定ノ方法ニ依リ積立金ノ會員ヲ募集シ其會員ニ貸金ヲ爲ス
四　土地建物管理差配竝土地建物有體動產ヲ抵當トスル金融仲介
五　有價證券電話等賣買竝金融仲介
六　貸金賣懸代金其他集金受託
七　土地建物以外ノ財產管理竝整理受託
八　各種保險業仲介及勞働仲介
九　其他一般代辨行爲竝各種書類作成
一設立年月日　明治四十三年十月一日
一代表社員　青柳荒治郎
一社員及出資種類價格竝責任
金八百圓　無限　横濱市表町一丁目五十一番地　青柳荒治郎
金四百圓　無限　同市松影町二丁目六十二番地　雨宮一二郎
金四百圓　有限　同市表町一丁目十番地　清水万次郎
金四百圓　有限　同市若葉町三丁目二十七番地　原喜幸
一存立時期　滿三十箇年
右明治四十三年十月五日登記　横濱區裁判所

合資會社石橋銀行變更事項
一本店　都筑郡新田村吉田三千六百一番地
一都筑郡新田村支店廢止

付録

第8195号付録

第 8195 号　付録

第8195号 付録

第 8195 号 付録

第 8195 号　付録